日本学生の連携 1								令和7年	3月1日記入
★:非該当	コード番号	企業と	の連携	科目名		基礎			
国実務経験のある教員による授業 単位数 2 単位 講義			L=± \1,				▋責任者	菊地	潤
科目概要・目的 理学療法士として整形外科病院、診療所にて15年間の実務経験を活かした授業で、 人体を動かす筋肉について知ることを目標として、関節運動を理解するための基礎 を学び、人体構造機能学演習へつなげて行く。 教育目標該当項目 ③3(3(⑤)6) 回数 時間 テーマ 授業内容・到達目標 担当教員 第1回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第3回 2 股部の筋 股部の筋を知る。 菊地 第4回 2 下腿の筋 保幹腹部の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第5回 2 上肢の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体験部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地	1	× :	該当				332 1 L 38L	0 27 / 1	=# **
理学療法士として整形が利病院、診療所にて15年間の実務経験を活かした授業で、 人体を動かす筋肉について知ることを目標として、関節運動を理解するための基礎 を学び、人体構造機能学演習へつなげで行く。		44		□実務経験のあ	<u> る教員による</u>	授業			
人体を動かす筋肉について知ることを目標として、関節運動を理解するための基礎を学び、人体構造機能学演習へつなげて行く。 法学 解剖学 第4版」 本一ワード ①筋の形状 ②筋の作用 ③須(5)⑥ ①筋の形状 ②筋の作用 ③筋の起始停止 回数 時間 テーマ 授業内容・到達目標 類担当教員第1回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 第地第3回 2 股部の筋 大腿部の筋を知る。 第地第3回 2 股部の筋 大腿部の筋を知る。 第地第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 第地第6回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 第地第6回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 第地第6回 2 体幹の筋 体幹間の筋を知る。 第地第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 第地第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 第地第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 第地			以到中心	シ皮ボルブ15年間の中3	次奴段大洋 かし	七世类云			
を学び、人体構造機能学演習へつなげて行く。 キーワード (1)所の形状 (2)筋の形状 (2)筋の作用 (3)係(5)(6) 教育目標該当項目 (3)(4)(5)(6) (3)筋の起始停止 (3)筋の起始停止 (3)筋の起始停止 (3)筋の起始停止 (3)筋の起始停止 (4) 類									太子"TF未惊
キーワード					がらたけり のに	-0707-至陇		נאורד אידוואן	
1		117×2 17×110	7,7,1	2 0.17 (11 (0					
1									
1									
1							+ -	1.8	
教育目標該当項目 ③(4)(5)(6) (2)筋の作用 ③筋の起始停止 回数 時間 テーマ 授業内容・到達目標 第1回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第2回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第3回 2 殿部の筋 殿部の筋を知る。 菊地 第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹間の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地									
教育目標該当項目 ③(4/⑤)⑥ ③筋の起始停止 回数 時間 テーマ 授業内容・到達目標 第1回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 第2回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 第3回 2 股部の筋 股部の筋を知る。 第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地									
③④⑤⑥ 回数 時間 テーマ 授業内容・到達目標 担当教員 第1回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第2回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第3回 2 殿部の筋 殿部の筋を知る。 菊地 第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地	教育目標該当	1項目							
第1回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第2回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第3回 2 殿部の筋 殿部の筋を知る。 菊地 第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。									
第2回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第3回 2 殿部の筋 殿部の筋を知る。 菊地 第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	回数	時間		テーマ		授業内容	₹∙到達目	標	担当教員
第2回 2 大腿の筋 大腿部の筋を知る。 菊地 第3回 2 殿部の筋 殿部の筋を知る。 菊地 第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第1回	2		大腿の筋	大腿部の筋を	知る。			菊地
第3回 2 殿部の筋 殿部の筋を知る。 菊地 第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	3,71	_			V 432 A1 - V 733 C				31013
第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第2回	2		大腿の筋	大腿部の筋を	知る。			菊地
第4回 2 下腿の筋 下腿後面の筋を知る。 菊地 第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。									
第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第3回	2		殿部の筋	殿部の筋を知	る。			菊地
第5回 2 体幹の筋 体幹腹部の筋を知る。 菊地 第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。									
第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第4回	2		下腿の筋	下腿後面の第	がを知る。			菊地
第6回 2 体幹の筋 体幹背部の筋を知る。 菊地 第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	** - D			##\ o.##	生大吃如	T + 60 7			++ 1.1
第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第5回	2		体幹の肋	体軒腹部の別 	かを知る。			
第7回 2 上肢の筋 肩部の筋を知る。 菊地 第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	笠 6 同	0		は 松の笠	は砂まがの気	ድ <i>ቲ.</i>			井 +
第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	弗0凹	2		14年10月前	14年月前の第	りて叫る。			判 地
第8回 2 上肢の筋 上腕前面の筋を知る。 菊地 第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第7回	2		上時の筋	信部の筋を钉	13			
第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第7 回			工版の別	H III O M E X	1.000			利心
第9回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第8回	2		上肢の筋	上腕前面の筋	を知る。			菊地
第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	7,50								21013
第10回 2 前腕の筋 前腕部の筋を知る。 菊地 評価方法 小テストにて判断する。	第9回	2		前腕の筋	前腕部の筋を	知る。			菊地
評価方法・パテストにて判断する。									-
	第10回	2		前腕の筋	前腕部の筋を	知る。			菊地
					<u> </u>				l
科目全体の評価方法 授業時数を20時間で分割し、各担当の成績を合算し判断する。	評価方	法	小テストに	て判断する。					
		<u> </u>	1 - Alle - 1 - 271	/ I BB		San James I -			
	┃科目全体の記	評価方法	授業時数 	を20時間で分割し、各担当	当の成績を合算	し判断する	0		

						令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	の連携	科目名	分野基礎			
		. = 1	基礎理化学	開講時期 1年前期	担当者	臂 貴紀	,
1	× :	‡該当	(うち20時間)	授業時間 60	337 F L 307	- 3771	-# **
	<i></i>		□実務経験のあ	る教員による授業	単位数	2 単位	講義
科目概要・目		亡7台 =+883	£=#¬- > -> -` /			香者/書名/発行所)	T 34 T T 24 . 走
				イサービスにて12年間の て理解をする。感覚・感		500、生理字 第500(例 :療法学、医学書院)	译理子 療
				が入るということはどう	丛于* IF未	:原丛于、丛于盲阮/	
					配布資料		
				ト領域の学習へ進む。	HB 1172111		
124 7 115 6 12							
					キーワード		
					①感じると		
	4百日				②動くとは ③脳とは		
3456	1次口				O MACIA		
回数	時間		テーマ	授業内	內容∙到達	目標	担当教員
第11回	2		神経とは	神経とは何を指すのか	・どこにある	らのか	臂
第12回	2	1	感覚とは① 	感じるとはどういうことな	このか。 		臂 ————————————————————————————————————
第13回	2	ļ	感覚とは②	感覚が伝わる流れを大	まかに理解	ぱする 。	臂
第14回	2		感覚とは③	受容器・伝導路・大脳な	どの用語を	を理解する。	臂
第15回	2	:	運動とは①	体が動くというのはどう	いうことなの	つか。	臂
————— 第16回	2	:	 運動とは②	動きたいという意欲と体	 が動くまで	 の流れを理解する。	
第17回	2	;	運動とは③	筋肉の役割を理解する	0		臂
第18回	2	自	律神経とは①	汗をかく・脈拍が多くなる	るとはどうし	うことなのか	臂
第19回	2	自	律神経とは②	リラックスと興奮・エキナ	ナイティング	とは	臂
第20回	2	自	律神経とは③	体の調整機能について	理解する。		臂
評価方法		評価指標は	こて⑥成果物(講義資	- 料)⑨成果物(小テスト約	吉果)を評価	まする。	
科目全体の記	平価方法	授業時数を	E20時間で分割し、各	担当の成績を合算し判と	折する。		

							令和7年3	月1日記入
<u>コード番号</u> 1	-	との連携 非該当	科目名 基礎理化学 (うち20時間)	分野 開講時期 授業時間	基礎 1年前期 60	担当者	山野井	
る。理学療 ル 吸器、こ まは、 運 は は に で は 護 に た う た う に は は り に り に り に り に う に う に う に う に う た う た う た う た う た う	バスター は神を は神を はて はて はて はて は に に に に に に に に に に に に に	運動器(情であり、栄養をに乗せてれに関わり。 で運動の原ででででででででででででででででででででででででいます。	✓実務経験のあり、人体の大まかなしくみる、筋肉)の専門家である。 養を得るのは消化器、酸 て身体に送るのは循環器 る身体のしくみを幅広く等 関りを学部ことを目標とす 勤務した経験に基づき記	を知ることを るが、運動器を 素を取り入れ 素の働きによる 学習する必要が でる。理学療法	目標とす ニコントロー るのは呼 。。従って学 がある。こ	解剖学 第学療法学	2 単位 著者/書名/発行 5版、生理学 第5 作業療法学、医 操経、内臓、血液	ō版(標準理 :学書院)
教育目標語 3456		∃ 			拉米古家		THE	
<u>回数</u> 第21回	<u>時間</u> 2	循環器:」	テーマ 血液を身体に送る	循環器(心臓		- 到達目 なり立ちを知		担当教員 山野井
第22回	2	循環器:」	 血液を身体に送る	心臓からの血	 ı液の流れを	 知る。		山野井
第23回	2	循環器:	動脈	動脈(上肢・T	下肢)の名称	を知る。		山野井
第24回	2	循環器:	動脈	動脈(脳)の名	名称を知る。			山野井
第25回	2	循環器∶	静脈	静脈の名称を	知る。			山野井
第26回	2	循環器:'	Jンパ	リンパの名称	を知る。			山野井
第27回	2	呼吸器:	酸素を取り入れる	呼吸器(気管	と肺)の成り	立ちを知る	5.	山野井
第28回	2	呼吸器:	酸素を取り入れる	酸素が肺から	血液に取り	込まれる仕	±組みを知る。	山野井
第29回	2	呼吸器:「	乎吸気量	肺活量など呼	吸で出入り	する呼吸気	<u></u>	山野井
第30回	2	まとめ		心臓と気管・気	気管支、肺の	D位置関係	を知る。	山野井

振り返りシート、小テストにて判断する。

科目全体の評価 授業時数を20時間で分割し、各担当の成績を合算し判断する。

評価方法

方法

							令和/年3	<u>月1日記入</u>
コード番号	企業。	との連携	科目名	分野	基礎			
2	× :	非該当	医療概論	開講時期 授業時間	1年前期 30	担当者	持田	誠
			☑実務経験のあ		る授業	単位数	2 単位	講義
科目概要・	目的					教科書(著	· 香者/書名/発行	所)
			タ外科系病院で勤務し カ			特に指定せ		
			と疾病の成り立ちについ	って理解する。	とともに、主			
な疾患につ	いての	概念を深め	める。			キーワート		
							学療法、疾病と障	
业 本 □ 福 =	ᅔᄱᅚᅙ	_				備征と埋号 礎医学	学療法、予防、医	撩仃為、基
教育目標語 3456	炎 ヨ垻日	3				啶医子		
回数	時間		テーマ		授業内容	·到達目標	<u> </u>	担当教員
					八个八	- 1/1 E II 1/2		
第1回	2		医療概論1	医療とは				持田
第2回	2		医療概論2	医療とは				持田
	_							
第3回	2		医療概論3	疾病				持田
	_							
第4回	2		医療概論4	疾病				持田
	_			P+ C+	> 7 PL			14 —
第5回	2		医療概論5	障害と疾患の)予防			持田
// o 🗆			医康斯勒 。	四类症头儿点	- ф			4+
第6回	2		医療概論6	理学療法と想	思			持田
笠っ同	2		医療概論7	基礎医学との	7間連			+±m
第7回			达 尔ベ洲 /	基 促区子C0	川判理			持田
第8回	2		医療概論8	基礎医学との	の関連			持田
为이미			公 別、明 0	坐陇区于C∪	/ 対廷			14 M
第9回	2		医療概論9	基礎医学との	が関連			持田
жэ <u>ы</u>			四次1950年1	を 応 区 丁 C V				14 ITI
第10回	2		医療概論10	基礎医学との)関連			持田
क्राउल				全 応 区 丁 こ 🌣				14 Ш
第11回	2		医療概論11	基礎医学との)関連			持田
жиш			三次 1% 山間 「 1	至於 区] C v				1/1 [11]
第12回	2		医療概論12	基礎医学との)関連			持田
77.20					- 1/1/~-			17,114
第13回	2		医療概論13	基礎医学との)関連			持田
7,7.00		'	- 1144 Hilly		. ,,,,,			,,,_
第14回	2		医療概論14	リスク				持田
		'		· · · ·				
第15回	2		医療概論15	標準予防策				持田
					1) 🔿 🛨 🖪	B.H.m. / ,1. = →	· 1 4+ 田 \ + == / / = -	
評価方		評価指標	にて⑦成果物(講義中	<u>に作成したノ</u> -	<u></u>	F初(小ナス	い桁朱/を評価3) る。

専任

専任

専任

							<u> </u>	3月1日記入
コード番号	企業と	≥の連携	科目名	分野	基礎			
		1L = 1.	コミュニケーション論	開講時期	1年通年	責任者	菊地 🤅	閏
3	X:	非該当		授業時間	30 7 10 **	24 1工 4F	0 14 /T	-# *
 科目概要•	日的		☑実務経験のあ	る教具による	5 技耒	単位数	2 単位 §者/書名/発行所)	講義
		整形外科	病院、診療所にて15年	間の実務経験	を活かした	特に定めた		'
			るコミュニケーション能力				5.0 0	
			作成について学ぶ。また	-一般的なマナ	-一を学び	キーワード		
実践しなか	り埋解	を深めて	,\< ₀			①社会的 ¹ ②自己管理		
教育目標詞	亥当 ा E	3				③文書作		
1345		-					~	
回数	時間		テーマ		授業内	容·到達目	標	担当教員
第1回	2		顔合わせ	学生・教員と	話をすること	ができる。		専任
第2回	2		伝え方	挨拶、教員へ る。	の声かけ、	学校への電	電話連絡が模倣でき	専任
第3回	2		自己管理①	時間管理・健	康管理∙感∮	青管理を理	解できる。	専任
第4回	2		自己管理②	上記を踏まえ	て模倣でき	る。		専任
第5回	2		マナ―①	実習に向けて	て適した身だ	しなみ(ス-	ーツ)を理解できる。	専任
第6回	2		文書作成①	レポートの書	き方を理解	し模倣できる	ა .	専任
第7回	2		ミュニケーション	コミュニケー	ションの種類	を理解でき	る。	専任
第8回	2	コミュ	ニケーション練習①					専任
第9回	2	コミュ	ニケーション練習②	伝え方・聞き	方を理解し、	、対話の中: る。	から情報を収集でき	専任
第10回	2	コミュ	ニケーション練習③]				専任
第11回	2		文書作成②	見学時のメ モ る。	€の取り方、	日報の書き	方を理解し模倣でき	専任
第12回	2		見学練習①	変形性膝関節 る。	節症の理学	療法を見学	し、日報を作成でき	専任

第13回

第14回

第15回

評価方法

2

2

2

見学練習②

文書作成③

マナー②

実技試験・提出物・成果物・授業態度を総合的に判断する。

脳卒中維持期の理学療法を見学し、日報を作成できる。

実習に向けて適した身だしなみ(白衣)を理解できる。

お礼状の書き方を理解できる。

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	との連携	科目名	分野	基礎			
4	0:	:該当	心理学	開講時期 授業時間	1年前期 30	担当者	井古田	大介
			☑実務経験のあ	る教員による	講義			
科目概要•	目的						著者/書名/発行	
			して精神科・心療内科				(編)「対人援助	
れながら、	幅広く	学び、科学	心理学的観点から解説 としての心理学の持つ∶	方法論、研究	内容、日常		心理学」 有斐閣	ストゥディア
		について	理解を深める。また、さ	まざまな心理	アセスメント			
方法を学る) ` o					-	ト 心理検査	
教育目標詞	友坐ΤΕ F	3				インテーク	/	
1)4)	《二块口	3						
回数	時間		テーマ		授業内容	・到達目標	票	担当教員
第1回	2		総論	心理学とは				井古田
第2回	2		知覚と認知	知覚と認知の	の心理の働き	を理解する	3 .	井古田
第3回	2		感情(1)	感情と情緒の	の心理の働き	を理解する	3 .	井古田
第4回	2		感情(2)	感情と情緒の	の心理の働き	を理解する	3 .	井古田
第5回	2	2	淡求と動機(1)	欲求と動機の	の心理の働き	を理解する	3 .	井古田
第6回	2	2	淡求と動機(2)	欲求と動機の	の心理の働き	を理解する	3 .	井古田
第7回	2		学習(1)	学習の心理	(古典的条件	づけ)の働	きを理解する。	井古田
第8回	2		学習(2)	学習の心理(オペラント条	件づけ)の(動きを理解する。	井古田
第9回	2		学習(3)	学習の心理	(観察学習)(の働きを理	解する。	井古田
第10回	2		記憶	記憶の心理の	の働きを理解	弾する。		井古田
第11回	2	ş	発達と成長(1)	発達の心理	〔誕生から学	童期)の働	きを理解する。	井古田
第12回	2	ġ	発達と成長(2)	発達の心理(青年期から	老年期)の個	動きを理解する。	井古田
第13回	2	- i	社会と組織(1)	社会における	る心理と行動	について理	 里解する。	井古田
第14回	2	1	社会と組織(2)	社会における	る心理と行動	について理	 里解する。	井古田

小テスト、期末試験の結果だけでなく、出席態度、演習への取り組み方などを含め、総合的に判断する。

総括

井古田

まとめ

第15回

評価方法

2

						1. 14. 1 .	/
コード番号	企業との連携	科目名	分野	基礎			
		人間発達学	開講時期	1年後期	担当者	小松 🌡	昌久
5	○:該当	入间先连子	授業時間	15			
		☑実務経験のあ	る教員による	5授業	単位数	1 単位	講義
科目概要•	目的				教科書(著	· 香者/書名/発行	·所)
理学療法士	として35年間、 -	ー般病院等での小児領地	或に対するリバ	ヽビリテー	上杉雅之	. 監修「イラスト	でわかる小
		長で、子どもの発達を通し		_ -	児理	里学療法 」医歯薬	葵出版
		よ実施のための背景に役			キーワード		
	得と心身の成長	について学び関わり方に	こついて説明で	できるように	運動発達・	·精神社会的発達	達·発達検査
なる。							
<u> </u>	太少百日	•	•				

(1)(2)				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	発達とは。概念,理論	発達の言葉の定義と理論について説明できる。	小松
第2回	2	運動発達0-3	生後0か月から3ヶ月の運動発達の特徴を説明できる。	小松
第3回	2	運動発達4-6	生後4か月から6ヶ月の運動発達の特徴を説明できる。	小松
第4回	2	運動発達7-9	生後7か月から9ヶ月の運動発達の特徴を説明できる。	小松
第5回	2	運動発達10-12	生後10か月から12ヶ月の運動発達の特徴を説明できる。	小松
第6回	2	姿勢•反射•反応	原始反射・姿勢反射について姿勢獲得の時期と関連付けて説明できる。	小松
第7回	2	発達検査	様々な発達検査について概要を説明できる。	小松
第8回	2	身体の発達	身体的な変化と姿勢・動作獲得が関連づけて説明 できる。	小松
評価方	法	小テスト・総合テスト・提出物・授	業態度を総合的に判断する。	

					1. 14. 1 .	/
企業との連携	科目名	分野	基礎			
× : 非該当	情報統計論	開講時期 授業時間	1年前期 30	担当者	臂貴	紀
V. 10.	□実務経験のあ			単位数	2 単位	講義
目的				教科書(清	· 香者/書名/発行	·所)
月いた報告書を	作成する能力を身につ	ける。また、理	型学療法実	Microsoft	Word, Excel, Pov	werPoint同
、先人たちの記述	比した論文や、検査結果の	の判定に用い	られる基準	等のソフト	がインストールさ	られたパソコ
囲について学び	、対象者の問題に側した	ニ情報を集め、	知識を整	ンを用意し	<i>、</i> てください。	
のための行動を	とれるようにする。					
				キーワート	•	
				記述統計、	、感度、特異度、	尤度比、有
				意差		
亥当項目						
	×:非該当 目的 E用いた報告書を 、先人たちの記述 囲について学び のための行動を	×:非該当 情報統計論 □実務経験のあ 目的 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前	×:非該当 情報統計論 開講時期 授業時間 □実務経験のある教員による 目的 そ用いた報告書を作成する能力を身につける。また、理 、先人たちの記述した論文や、検査結果の判定に用い 囲について学び、対象者の問題に側した情報を集め、 のための行動をとれるようにする。	*:非該当 情報統計論 開講時期 1年前期 授業時間 30 □実務経験のある教員による授業 目的 E用いた報告書を作成する能力を身につける。また、理学療法実、先人たちの記述した論文や、検査結果の判定に用いられる基準 囲について学び、対象者の問題に側した情報を集め、知識を整のための行動をとれるようにする。	* : 非該当 情報統計論 開講時期 1年前期 担当者 授業時間 30 口実務経験のある教員による授業 単位数 目的 辞用いた報告書を作成する能力を身につける。また、理学療法実 Microsoft 等のソフト と大たちの記述した論文や、検査結果の判定に用いられる基準 囲について学び、対象者の問題に側した情報を集め、知識を整めための行動をとれるようにする。 キーワート 記述統計、意差	企業との連携 科目名 分野 基礎 * : 非該当 情報統計論 開講時期 1年前期 1年前期 1年前期 1月

(2)(3)(6)

(2)(3)(6)				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	パソコンの基本操作	基本的なパソコンの操作方法を学ぶ。	臂
第2回	2	"	オンライン講義の受講のために必要な操作・知識を身に着ける。	臂
第3回	2	システムの利用	学びばこの使用方法等を理解する。	臂
第4回	2	"	google class roomでのグループワークなどを行える。	臂
第5回	2	Word	基本的な書類作成ができる。	辟
第6回	2	"	ジェノグラム等の学習と共に図形や画像の操作が行える。	臂
第7回	2	Excel	基本的な表計算ができる。	臂
第8回	2	"	表計算で求めた値をグラフや表にまとめることができる。	臂
第9回	2	医療統計	データの尺度、特性値、グラフの種類	臂
第10回	2	"	標本、正規分布、平均、有意確立	臂
第11回	2	"	基準値、基準範囲、感度、特異度	臂
第12回	2	"	帰無仮説、検定方法の種類	臂
第13回	2	"	1標本の差の検定	臂
第14回	2	"	2標本の差の検定	臂
第15回	2	"	相関	臂
評価方	法	評価指標にて⑥成果物(講義資	[料]を評価する。	

							会和7年3	月1日記入
コード番号	企業」	≤の連携	科目名	分野	基礎		714740	刀!口配八
コード街方	止未り	_0/连汤		開講時期		責任者	菊地	潤
7	V . =	₁⊢≘⊁ ¹\				貝讧汨	利地	/ 土
7	^ :	非該当	(うち30時間)	授業時間	60 7 to **	** 1 十 *}-	4 ¥ / _	১⇔ বব
ᆌ			☑実務経験のあ	る叙貝による	0 技耒	単位数	<u>1単位</u>	<u>演習</u>
科目概要・		一市ケカノにしてい	·产啦	- 88 🌣 🖶 🌣 🕫	<u> </u>		著者/書名/発行	
			病院、診療所にて15年				·他 著『人間の)	里期子训肠
			学などの基礎的知識な			同医書出		八七吃亡活
			学、その他の基礎医学 ⁻ 関節の構成、関節の運				郎 編著 「動作 メディカルビュー	
			_{関助の構成、関助の運} から支持基底面や重心			用神座」	グリイガル レユー	仁
を行う。	11年到0.		かり入す本心田 で主に	プログス・フェブ	- H J (4) [[]	+ 🗆 1	*	
C 11 70						キーワート		
						①関節運動学		
教育目標語	ᅔᆇᅚᇊ	3				③起居移		
教育日標語 ②	メヨ垻日	1				シルル 古物	19月1日	
回数	時間		テーマ		授業内容	·到達目札		担当教員
第1回	2	肩関	節複合体の連結	構成する組織				菊地
第2回	2		同の運動学①	特徴を知り、				菊地
第3回	2		『の運動学②	特徴を知り、	運動を理解	する。		菊地
第4回	2	肘関節・	前腕・手関節の連結	構成する組織			·る。	菊地
第5回	2		宛・手関節の運動学	特徴を知り、				菊地
第6回	2		部・手指の連結	構成する組織			·る。	菊地
第7回	2		手の運動学	特徴を知り、	運動を理解	する。		菊地
第8回	2	Я	受関節の連結	構成する組織	歳を知り、連続	結を理解す	·る。	菊地
第9回	2	Я	殳の運動学①	特徴を知り、				菊地
第10回	2		殳の運動学②	特徴を知り、				菊地
第11回	2			構成する組織			·る。	菊地
第12回	2	Я	泰の運動学①	特徴を知り、				菊地
第13回	2		泰の運動学②	特徴を知り、	運動を理解	する。		菊地
第14回	2		足関節の連結	構成する組織			·る。	菊地
第15回	2	足	関節の運動学	特徴を知り、	運動を理解	する。		菊地
第16回	2	,	步行 <u>①</u>	正常の歩行の	のメカニズム	を理解する	,)	平井
第17回	2		步行②	正常の歩行の				平井
第18回	2			歩行を観察し				平井
第19回	2			歩行を観察し				平井
第20回	2			正常の寝返り				平井
第21回	2		寝返り②	寝返りを観察				平井
第22回	2		寝返り③	寝返りを観察	し、分析・記	載ができる	5.	平井
第23回	2	j	起き上がり①	正常の起き」				平井
第24回	2		起き上がり②	起き上がりを	観察し、分析	斤∙記載がで	できる。	平井
第25回	2		<u>==</u> 起き上がり③	起き上がりを				平井
第26回	2		<u></u> 立ち上がり①	正常の立ち」				平井
第27回	2		<u></u>	正常の立ち」				平井
第20回	2		<u>ニューペッと</u> ☆ナ トがいの	立た上がいた	•			77 #

評価方法 小テスト・総合テスト・提出物・授業態度を総合的に判断する。 科目全体の評価 授業時数を30時間で分割し、合算して判断する。 評価方法

立ち上がり③

立ち上がり④

総括

2

2

第28回

第29回

第30回

まとめ

立ち上がりを観察し、分析・記載ができる。

立ち上がりを観察し、分析・記載ができる。

平井

平井

平井

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	上の連携	科目名	分野	基礎			
			F + + + + + + + +	開講時期	1年後期	責任者	山野井	裕子
8	X : 3	非該当	医療基礎統合論	授業時間	60			
		71 112 -	☑実務経験の			単位数	2 単位	演習
科目概要•	日的			27 W 17 P T T T T T T T T T T T T T T T T T T			<u> </u>	
	-	木構 告学7	で学んだ解剖学、生理	学の基礎的な	田識レ 各		ョロ/ <u>ロロ/ 兄 </u> 使用した教科書	3 171 /
			、疾患に対する総合的			ーナグにり		
			ト護施設等で勤務した			キーワート		
た授業を行		· // 31/20 · /	1 12/10/12 17 12/17/01/0	17 12 15/50/10 1/2	2/2/2/2	<u>(1)解剖学</u>	②生理学 ③編	舞学 ④基
						礎運動学	⑤理学療法評	
教育目標詞	亥 当項目	1					7基礎運動学	
3456	л — - Д	-				動学 910		
回数	時間		テーマ		授業内容	·到達目		担当教員
第1回	2			運動とバイタ		71XE 111	·*	山野井
第2回	2		生理学実習	運動とバイタ				山野井
第3回	2		<u>工程于关目</u> 生理学実習	反射と体温	<i>10 1 10</i>			高澤
第4回	2		生理学実習	反射と体温				高澤
第5回	2		生理学実習	特殊感覚と過	事動			<u>同/年</u> 臂
第6回	2		生理学実習	特殊感覚と過				<u> </u>
第7回	2		運動学実習	下肢骨格筋				小川
第8回	2		運動学実習	下肢骨格筋				小川
第9回	2		運動学実習	上肢骨格筋				小池
第10回	2		運動学実習	上肢骨格筋				小池
第11回	2		運動学実習	軟部組織の				菊地
第12回			運動学実習	軟部組織の				菊地
第13回	2	運動	<u>之别,只日</u> 肋器障害症例検討	人工骨頭置				小池
第14回	2		协器障害症例検討	人工骨頭置				小池
第15回	2		协器障害症例検討	人工骨頭置				小池
第16回	2		経障害症例検討	脳卒中急性				高澤
第17回	2		経障害症例検討	脳卒中急性				高澤
第18回	2		経障害症例検討	脳卒中急性				高澤
第19回	2		部障害症例検討	COPD	••			山野井
第20回	2		部障害症例検討	COPD				山野井
第21回	2		部障害症例検討	COPD				山野井
第22回	2		動作分析		_がり動作の	観察および	が原因の分析 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	菊地
第23回	2		動作分析 動作分析				<u> </u>	菊地
第24回	2		<u> </u>				<u> </u>	菊地
第25回	2			異常歩行の				臂
第26回	2			異常歩行の				臂
第27回	2			異常歩行の				臂
第28回	2	Į.	最者の目標設定	情報をもとに				小川
第29回	2		見者の目標設定	情報をもとに				小川
第30回	2		者の目標設定	情報をもとに				小川
評価方			、実技試験、口頭試問					
F1 [P473	,_,	1 1 2 1 4 4 7						

						令和7年3	月1日記入
コード番号	企業。	との連携	科目名	<u>分野</u> 専門基礎開講時期 1年前期	担当者	持田	≣成
9	× :	非該当	人体構造機能学 I	<u> </u>	1534] т Ш	D.V.
	L		☑実務経験のあ	る教員による授業	単位数	2 単位	演習
科目概要・	-	ナ10 仁 畝 I	ᇇᆔᄭᆄᇚᄼᄥᅑᆝᄼ	夕 野から田豊康はナケ		者/書名/発行	
				上経験から理学療法を行は必要不可欠である。そ		₹法学•作業療法 ○ 医学書院	大学 解剖
				、主な感覚系等のメカニ	キーワード	E 1 E 100	
ズムを学習	する。				細胞、感覚	器、末梢神経、	自律神経
教育目標詞	亥当項目	3					
<u>②</u> 回数	時間		テーマ	超 業 内	▪到達目標	1	担当教員
					* 17 E L 17	5	
第1回 ————————————————————————————————————	2		人体概観 ————————————————————————————————————	各系統の仕組み			持田
第2回	2		人体概観	細胞・組織			持田
第3回	2		 人体概観	細胞・組織			持田
- 第3回			八 个 1 见 正元	小川八尺。小丘小郎			行四
第4回	2		人体概観	系統別概念			持田
第5回	2		人体概観	系統別概念			持田
第6回	2		感覚器	視覚			持田
第7回	2		感覚器	視覚			持田
第8回	2		感覚器	平衡機能および聴覚			持田
第9回	2		感覚器	平衡機能および聴覚			持田
第10回	2		感覚器	味覚・嗅覚			持田
第11回	2		感覚器	皮膚 外皮系 感覚器			持田
第12回	2		感覚器	感覚器まとめ			持田
第13回	2		感覚器	感覚器まとめ			持田
第14回	2		自律神経	メカニズム			持田
第15回	2		自律神経	メカニズム			持田

|評価指標にて⑦成果物(講義中に作成したノート)、⑨成果物(小テスト結果)を評価する。

						令和7年3	月1日記入		
コード番号 10		との連携 非該当	科目名 人体構造機能学Ⅱ	分野 専門基礎 開講時期 1年前期 授業時間 30	担当者	小池 ፤	武則		
) H2\ —	☑実務経験のあ	る教員による授業	2 単位	講義			
科目概要・	目的				教科書(著者/書名/発行			
れの位置でして整形を	を知るた ト科病院	:めに基準 Eにて十二	となるのは骨である。本 年勤務した経験から、理	成されているが、それぞ 科目では理学療法士と 型学療法士の視点で骨を 動であり、運動は関節で		盖修「標準理学療 解剖学 第4版」B			
			名称および一般的な構造		キーワート				
でいく。				-	①骨の名の性質と様	称 ②骨部位の 幾能 ④関節の名			
教育目標語 ②	亥当項 自	∄			節の構造	⑥関節の機能			
回数	時間		テーマ	授業内容	▪到達目ホ	三	担当教員		
第1回	2	1	全身の骨と関節	主要な骨・関節の医学的	名称が言え	える。	小池		
第2回	2		骨学各論	大腿骨の部位名称がいる	える。		小池		
第3回	2		骨学各論	脛骨の部位名称がいえる	5.		小池		
第4回	2		骨学各論	膝蓋骨・腓骨の部位名称	ぶがいえる。		小池		
第5回	2		骨学各論	足根骨の部位名称がいる	える。		小池		
第6回	2		骨学各論	頭蓋骨・脊椎の部位名称	がいえる。		小池		
第7回	2		骨学各論	脊椎・肋骨の部位名称がいえる。 小池					
第8回	2		骨学各論	胸骨・鎖骨の部位名称が	いえる。		小池		

肩甲骨の部位名称がいえる。

上腕骨の部位名称がいえる。

手根骨の部位名称がいえる。

9小テストを評価する。

橈骨・尺骨の部位名称がいえる。

-般的な骨の形態・構造・血管・神経について言える。

-般的な骨の機能・発生・リモデリングについて言える。

-般的な関節の構造と機能が言える。

菊地

菊地

菊地

菊地

菊地

菊地

菊地

骨学各論

骨学各論

骨学各論

骨学各論

骨学総論

骨学総論

関節総論

|評価指標にて⑧振り返りシート、

2

2

2

2

2

2

2

第9回

第10回

第11回

第12回

第13回

第14回

第15回

						令和7年3	月1日記入
コード番号	企業。	との連携	科目名	<u>分野</u> 専門基 開講時期 1年前		高澤	
11	× :	非該当	人体構造機能学Ⅲ		朔 担当有	同/辛 /	+
科目概要・	日的		☑実務経験のあ	る教員による授業	単位数	2 単位 著者/書名/発行	講義
理学療法士	ととして		経験と一般病院・訪問看		ミ務 解剖学 第	<u>有有/音句/光1</u> 55版、生理学 第	
			経系の構造から、正常な 関の役割や局在性を理り			•作業療法学、医	学書院)
のつながり			到の反引 で向仕 圧を生	好し、 達到と作性工生	-		
					キーワート		
					神経構造	、神経機能、中机	这神経、末梢
教育目標詞	亥当項目	1			神経		
② 回数	時間		テーマ	授業区	┃ 内容・到達目	=	担当教員
第1回	2	神		中枢・末梢神経や髄腫			高澤
第2回	2	興奮の何	 伝達・シナプス・接合部	 伝達の仕組みと変化	について		高澤
第3回	2		大脳の構造①	部位の名称と場所に	ついて		高澤
第4回	2		大脳の構造②	脳機能の局在性につ	いて		高澤
第5回	2		脳幹の構造①	脳幹・脳神経の機能	と構造について	5	高澤
第6回	2		脳幹の構造②	視床・視床下部の機能	能と構造につい	いて	高澤
第7回	2		脳幹の構造③	大脳基底核の機能と	構造について		高澤
第8回	2		脊髄の構造	脊髄の機能と構造に	ついて		高澤
第9回	2	7	末梢神経の構造	構成と脊髄神経につ	いて		高澤
第10回	2		伝導路①	上行性・下行性の伝達	尊路について		高澤
第11回	2		伝導路②	下行性伝導路につい	て ①		高澤
第12回	2		伝導路③	下行性伝導路につい	て ②		高澤
第13回	2		伝導路③	上行性伝導路につい	て ①		高澤
第14回	2		伝導路③	上行性伝導路につい	て ②		高澤
第15回	2	Explore Use to	総括	まとめ			高澤
評価方	法	評価指標 果)を評値	にて⑥成果物(講義資料 西する	料)、⑦成果物(講義中	っに作成したノ・	ート)、(9)成果物 	(小テスト結

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	≥の連携	科目名	分野	専門基礎			
12	¥ · =	非該当	人体構造機能学Ⅳ	開講時期 授業時間	1年後期 30時間	担当者	山野井	裕子
12	^ . 5	作以 3	☑実務経験のあ			単位数	2 単位	講義
科目概要•	目的	•				教科書(清	香者/書名/発行	
			能(生理)の理解は、理論				5版、生理学第5	
			き書に関連する解剖学・: 知時実理党療法の知識				作業療法学、医	学書院)
			部障害理学療法の知識療法士として病院・介護			キーワート	· 战、血管、リンパ、	与答 与答
した経験に							は、血管、リンハ、 謝、体温、運動ら	
教育目標語			•			200 1100	#31 TT 7 MM (72 73) =	- · -
2								
回数	時間		テーマ		授業内容	・到達目標	# #	担当教員
第1回	2		循環器	心臓の刺激係	云導系			山野井
第2回	2		循環器	血液の拍出と	上血圧			山野井
第3回	2		循環器	血圧の調節				山野井
第4回	2		循環器	微小循環と物	微小循環と物質交換			
第5回	2		循環器	静脈還流				山野井
第6回	2		循環器	血液の組成				山野井
第7回	2		循環器	血液の機能				山野井
第8回	2		呼吸器	呼吸運動と呼	乎吸筋			山野井
第9回	2		呼吸器	呼吸器量と換	桑 気障害			山野井
第10回	2		呼吸器	ガス交換				山野井
第11回	2		呼吸器	呼吸調節				山野井
第12回	2		呼吸器	酸塩基平衡				山野井
第13回	2		代謝	栄養とエネル	ギー代謝			山野井
第14回	2		運動生理	筋収縮の3つ	のエネルギ	一源		山野井
第15回	2		運動生理	運動に伴う全	≜身の変化			山野井

|振り返りシート、成果物(授業資料)、小テストにて判断する。

						令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	≤の連携	科目名	分野 専門基礎			
13	× : 3	非該当	人体構造機能学Ⅴ	開講時期 1年後期 授業時間 30	担当者	持田	誠
			☑実務経験のあ	る教員による授業	単位数	2 単位	講義
科目概要・	目的				教科書(著	香者/書名/発行	
				た経験から理学療法を		療法学•作業療法	法学 解剖
				とは必要不可欠である。	学、生理学	空 医学書院	
	講義でに	ま消化器・	・泌尿器糸統を埋解する	とともに代謝の理解に努	- I		
める					キーワード		까무명. #t
					用化器・小 尿・排便	ルモン・栄養素・	泌冰岙"拼
教育目標認	亥当項目	1			//\ 15F IX		
2	~— <u></u>	-					
回数	時間		テーマ	授業内容	∙到達目標	<u> </u>	担当教員
第1回	2		消化器	概略			持田
שית			7F3 10-11H	19640			14 141
第2回	2		消化器	 口腔の機能と構造			持田
7,							77.
第3回	2		消化器	食道、胃の構造と機能			持田
第4回	2		消化器	小腸・大腸の構造と機能	持田		
第5回	2		消化器	┃小腸・大腸の構造と機能			持田
# C 🗔	0		当心里	ᄜᄱᅜ			+±.m
第6回	2		消化器	吸収と排便			持田
第7回	2		消化器	 肝臓・膵臓の構造と機能			持田
ж/ <u>ы</u>	۷			171 加成 71年7度 0771年7年 0772 月日			14 Ш
第8回	2		代謝	 栄養素と吸収部位			持田
7,7-7							,,_
第9回	2		代謝	解糖系			持田
第10回	2		代謝	ホルモン作用			持田
	_		/ h = 4 l		-41		
第11回	2		代謝	ホルモンおよびビタミン代	謝		持田
笠10回			沙尼里	腎臓			性四
第12回	2		泌尿器	有 / III			持田
第13回	2		泌尿器	排尿			持田
# 10E			W.W. HH	101 101			14) 111
第14回	2		泌尿器	 排尿			持田
<u> </u>	_			-			
第15回	2		生殖器	特徴			持田

|評価指標にて⑦成果物(講義中に作成したノート)、⑨成果物(小テスト結果)を評価する

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	≤の連携	科目名	分野	専門基礎			
			人体構造機能学演習	開講時期	1年	担当者	菊地	潤
14	× : ₹	非該当		授業時間	60			
			☑実務経験のあ	る教員によ	る授業	単位数	2 単位	演習
科目概要•	-						著者/書名/発行	
理学療法士	上として!	整形外科	病院、診療所にて15年	間の実務経験	を活かした	奈良勲	監修「標準理学療	法学∙作業
			学んだ骨・靭帯・筋・神経			療法学	解剖学 第4版」	
			て、周囲の組織との位置					
			至っては、理学療法士と	こしてのコミュニ	ニケーション			
の一端も学	こんでい	\ 0				1 -	18	
						キーワー		
							幹の骨触診	
							:幹の筋触診 :幹の靭帯触診	
教育目標語	龙业西日	-					・早十〇ノギグ・市・丹玉吉多	
教月日信息 126	メコ児に	1						
回数	時間		テーマ		授業内容		標	担当教員
第1回	2		『甲骨筋の構造	肩甲骨筋の	名称と場所を	:知る。		菊地
第2回	2		『甲骨筋の構造			<i>''</i>		菊地
第3回	2		胃関節筋の構造	肩関節筋の	名称と場所を	:知る。		菊地
第4回	2		 関節筋の構造			//		菊地
第5回	2		寸関節筋の構造	肘関節筋の				菊地
第6回	2		・手関節筋の構造	前腕·手関節	筋の名称と	場所を知る	5 。	菊地
第7回	2		・手関節筋の構造			//		菊地
第8回	2		手内在筋の構造	手内在筋の				菊地
第9回	2		殳関節筋の構造	股関節筋の	名称と場所を	知る。		菊地
第10回	2		殳関節筋の構造			<i>''</i>		菊地
第11回	2		泰関節筋の構造 	膝関節筋の				菊地
第12回	2		足関節筋の構造	足関節筋の	名称と場所を	<u>:知る。</u>		菊地
第13回	2		足関節筋の構造			<i>II</i>		菊地
第14回	2		足内在筋の構造	足内在筋の				菊地
第15回	2	頸	部・体幹筋の構造	頸部・体幹筋		所を知る。		菊地
第16回	2		上肢の骨触診	肩甲骨 鎖骨		_		小池
第17回	2		上肢の骨触診	上腕骨・橈骨		.骨		小池
第18回	2		下肢の骨触診	寛骨•大腿骨				小池
第19回	2		下肢の骨触診	下腿骨 足相				小池
第20回	2		部・体幹の骨触診	頸椎・腰椎・				小池
第21回	2		『甲骨筋の触診	僧帽筋•菱形		-t I		小池
第22回	2		胃関節筋の触診	三角筋・大脑			· · ·	小池
第23回	2		付関節筋の触診		·上腕三頭筋		派•側副靭帯	小池
第24回	2		・手関節筋の触診	手関節屈筋				小池
第25回	2		・手関節筋の触診	手関節伸筋				小池
第26回	2		殳関節筋の触診	腸腰筋・大殿			大腿動脈	小池
第27回	2		殳関節筋の触診	縫工筋・大腿				小池
第28回	2		泰関節筋の触診 	大腿四頭筋				小池
第29回	2		足関節筋の触診	前脛骨筋・朋			側側副靭帯	小池
第30回	2		部・体幹筋の触診	胸鎖乳突筋	・腹直筋・腹網	<u> </u>		小池
評価方	法	小テスト	と提出物を総合的に判断	ffする。				

						令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	との連携	科目名	分野 専門基礎			
	! ,	+ √	基礎病態論	開講時期 1年後期	担当者	持田	誠
15	×:	非該当		授業時間 30 る教員による授業	単位数	2 単位	講義
科目概要・	目的		¥□大力小士河スマノはノ	公敦只による12末			<u> </u>
本授業で	は病態			の正常な構造(解剖)・機	カラーで学	とべる病理学 第5	
				学習する。病態の理解は、	ヴェルヒロ		
			重要ある。理学療法士とし もづき講義を行う。	,C病院*介護保険施設 !	キーワート	、 vルギー、進行性	
C20 12,2,		. 中工一	, > C µn 7% C 13 > 0			奇形・遺伝病、感	
教育目標語	亥当項目	1			環障害	•	
② 回数	時間		テーマ	授業内容	▮ 尽•到達目標	票	担当教員
第1回	2	,	疾病の成り立ち	疾病の原因と発生につい			持田
N1.1		ļ	(A)(1)(1)(A)(A)(1)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)	///// W/		٥٥	— vi
第2回	2	紐	細胞・組織の障害	各論として、細胞や組織の	の障害を理	解する。	持田
第3回	2		再生と修復	傷害とその後の組織の示	 - す変化を}	理解する。	持田
<i>,</i> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		 	TIP IX		· 7 久心こ	エ カナ / U o	1.1 1-1
第4回	2		循環障害	疾患の成因となる病態を	持田		
第5回	2		循環障害	動脈硬化の成因と病態を	<u></u> E理解する。	,	持田
第6回	2		炎症	血管・結合組織を場として	て起こる炎り	たの概念を理解	持田
第7回	2		炎症	する。			持田
第8回	2	タ	免疫とアレルギー	ナマックの中にフェルギー	≠™細士 2		持田
第9回	2	タ	免疫とアレルギー	- 血球の役割とアレルギー 	を埋胜りる)。 	持田
第10回	2		代謝異常	消化器系と代謝の関係性	生についてタ	理解する。	持田
第11回	2		代謝異常	生活習慣病(メタボリック)を理解する。	シンドロー	ムなど)の成因	持田
第12回	2		腫瘍	悪性腫瘍の発生・進展、	点 学 的 特 组	サーチ エffム紀オサース	持田
第13回	2		腫瘍	悉性脾物の光工・延成、	发于□ ὑfτιξ	Xで理解する。 	持田
第14回	2		感染	感染の発生と予防、代表	的特徴を理	里解する。	持田
第15回	2		先天異常	先天性疾患の分類・成因]を理解する	5.	持田

						71/143	月1日記入
コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎			
16	×:非該当	臨床病態論	開講時期 授業時間	1年後期 30	担当者	持田:	太郎
		□実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	2 単位	講義
科目概要•	目的				教科書(著	蒈者/書名/発行	亍所)
		領域の間に位置し、基礎 る画像検査、生化学検査				リハベーシック 薬出版社	生化学·栄
		る薬剤の薬理効果につい			内山 靖/	リハベーシック	薬理学·臨
ション医学	領域を俯瞰する					⁄医歯薬出版社	
						′リハビリテーシ:	
					活かす画作	象のみかた/南洋	工堂
					キーワード		
						診断・栄養素・急	
					薬剤の効果	果∙副作用∙薬剤	」と運動
教育目標語	亥当項目						
②							

1	7	•		
(2	۷.)	

回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	画像診断学 総論	画像とリハビリテーション医療の繋がりを理解する。	菅
第2回	2	画像診断学 総論	画像とリハビリテーション医療の繋がりを理解する。	菅
第3回	2	単純X線·CT	単純X線・CTの原理と見方を理解する。	菅
第4回	2	MRI•MRA	MRI・MRAの原理と見方を理解する。	菅
第5回	2	核医学検査・エコー	核医学検査・エコーの原理と見方を理解する。	菅
第6回	2	蛋白とアミノ酸	栄養学の基礎として蛋白とアミノ酸の機能を理解する。	田口
第7回	2	酵素・ホルモン	栄養学の基礎として酵素とホルモンの機能を理解 する。	田口
第8回	2	糖質・脂質の代謝	栄養学の基礎として糖質と脂質の機能を理解する。	田口
第9回	2	ビタミン	栄養学の基礎としてビタミンの機能を理解する。	田口
第10回	2	エネルギー代謝	栄養学の基礎としてエネルギー代謝を理解する。	田口
第11回	2	薬の基礎と炎症	臨床薬学の基礎として必要な知識と炎症の制御を 理解する。	持田
第12回	2	神経疾患の薬物療法	神経疾患に対する薬物療法を理解する。	持田
第13回	2	循環系疾患の薬物療法	循環系疾患に対する薬物療法を理解する。	持田
第14回	2	疼痛の薬物療法	疼痛に対する薬物療法を理解する。	持田
第15回	2	注意すべき頻用される薬剤	薬物療法の注意点を理解する。	持田
評価方	法	小テスト、総合テスト、授業態度・	出席により、統合的に評価する。	

井古田

							令和7年3	月1日記入
コード番号 17		<u>との連携</u> :該当	科目名 臨床心理学	分野 開講時期 授業時間	<u>専門基礎</u> 1年前期 30	担当者	井古田	大介
科目概要・		沙山田 師。	☑実務経験のあ として精神科・心療内科				2 単位 著者/書名/発行 (編)「対人援助	
活かし、人	間理解	の方法を	して精神は一心場内は 心理学的観点から解説すると向きあうためのアプ	する。理学療法	去士として	に活かす/ キーワート	心理学」 有斐閣	ストゥディア
教育目標記3456	亥当項目	∃					である。 いうつ、不安	
回数	時間		テーマ		授業内容	⊶到達目標	票	担当教員
第1回	2		抑うつに対する k心理学的対応①	抑うつを抱え	.る患者の心	を理解する) ₀	井古田
第2回	2		抑うつに対する k心理学的対応②	抑 う つを抱える。	.る患者に対	するアプロ・	ーチ法を理解す	井古田
第3回	2	臨月	不安に対する k心理学的対応①	不安を抱える				井古田
第4回	2	臨月	不安に対する k心理学的対応②	不安を抱える る。	あまるに対す	⁻ るアプロー 	-チ法を理解す	井古田
第5回	2		自殺に対する に心理学的対応①	自殺の予防的	的アプローチ	ができるよ	うになる。	井古田
第6回	2	臨月	達障害に対する k心理学的対応①	発達障害を推				井古田
第7回	2		達障害に対する k心理学的対応②	発達障害を推解する。	包える患者に 	対するアフ	プローチ法を理	井古田
第8回	2	心	理療法の進め方	心理療法の流	流れを理解? 	する。 		井古田
第9回	2	*	青神分析療法①	精神分析を理	里解する。			井古田
第10回	2	*	青神分析療法②	防衛機制を理	里解する。			井古田
第11回	2	来	談者中心療法①	来談者中心組	療法を理解す	する。		井古田
第12回	2	来	談者中心療法②	受容・共感・	自己一致につ	ついて理解	する。	井古田
第13回	2		行動療法	行動療法を理	里解する。			井古田
第14回	2		認知行動療法	認知行動療法	去を理解する	5.		井古田
	I			I				1

総括

まとめ

小テスト、授業態度・出席により、統合的に評価する。

第15回

評価方法

2

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎				
18	○∶該当	精神疾患論	開講時期 授業時間	1年後期 30	担当者	井古田 大介		
		□実務経験のあ	単位数	2 単位	講義			
科目概要•	目的				教科書(清	著者/書名/発行	所)	
		、根幹となる精神障害者	ずの心理および	び行動特性	奈良勲他/心理・精神領域の理学療			
	おくことが重要で				法 はじめの一歩/医歯薬出版			
		患の病状・成因や診断・			1 - 1			
	理学療法士として	統合失調症、抑うつ、不安、発達症、						
方を習得す	-	摂食障害、	、認知症、依存症					
教育目標該当項目								
23								

2 3				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	精神医学の概念と精神医療福 祉の歴史	精神医学の概念について説明できる。 精神医療福祉の歴史について説明できる。	井古田
第2回	2	精神疾患の成因と分類	精神疾患の成因と分類について説明できる。	井古田
第3回	2	精神疾患の診断と評価	精神疾患の診断について説明できる。	井古田
第4回	2	主な精神症状・主な精神状態	主な精神症状と状態について説明できる。	井古田
第5回	2	統合失調症の症状	統合失調症について説明できる。	井古田
第6回	2	統合失調症への対応	統合失調症への対応について説明できる。	井古田
第7回	2	うつ病の症状と対応	うつ病の症状と対応について説明できる。	井古田
第8回	2	双極性障害の症状と対応	双極性障害の症状と対応について説明できる。	井古田
第9回	2	不安症の症状と対応	パニック症と全般性不安症、恐怖症の症状と対応 について説明できる。	井古田
第10回	2	強迫症の症状と対応	強迫症の症状と対応について説明できる。	井古田
第11回	2	PTSDの症状と対応	PTSDの症状と対応について説明できる。	井古田
第12回	2	発達症の対応	ASDとADHD、LDの対応について説明できる。	井古田
第13回	2	摂食障害の症状と対応	摂食障害の症状と対応について説明できる。	井古田
第14回	2	依存症の症状と対応	依存症の症状と対応について説明できる。	井古田
第15回	2	まとめ	総括	井古田
評価方	法	小テスト、総合テスト、授業態度・	出席により、統合的に評価する。	

今和7年2日1□=□1

小池

							令和7年3	3月1日記入
コード番号	企業との	連携	科目名	分野	専門基礎			
			女以 座字 や	開講時期	1年後期	担当者	小池	武則
19	× : 非該	送当	整形障害論	授業時間	60			
			☑実務経験の		る授業	単位数	2 単位	演習
科目概要・	目的	-				教科書(著者/書名/発	
理学療法:	上として整形	外科病院	にて十五年勤務	した経験から、	臨床実習前		える 運動器・3	
に知るべき	整形外科组	を患につい きょうしょう かいかい かいかい かいかい かいかん かいかん かいかん かいかん かいか	ヽて、病態・検査・氵	治療法を関連付	けて解説し		ディックメディア	7)
ていく。						キーワート		
						①疫学		査∙評価
						④画像所 .		台療
教育目標語	亥当項目					⑥リハビリ	テーション	
23								
回数	時間		テーマ			・到達目権	•	担当教員
第1回	2		/外科総論	整形外科医			いて	小池
第2回	2		性関節症①	総論および変		前症		小池
第3回	2		性関節症②	膝関節画像				小池
第4回	2		性関節症③	股関節画像				小池
第5回	2		即疾患①	大腿骨頸部				小池
第6回	2		即疾患②	大腿骨頸部				小池
第7回	2		関節疾患		•深部静脈血	.栓症・RICE		小池
第8回	2		関節疾患	RICE・アキレ				小池
第9回	2		即疾患①	五十肩・腱机				小池
第10回	2		即疾患②	肩関節脱臼		-		小池
第11回	2		謝性疾患	骨粗鬆症•骨				小池
第12回	2		系統疾患	骨形成不全				小池
第13回	2		の全身性疾患	感染症•腫瘍				小池
第14回	2		関節疾患		上顆炎·野球			小池
第15回	2		関節疾患	橈骨遠位端		'∙de Querv	ain病	小池
第16回	2		<u> </u>	腰椎椎間板				小池
第17回	2		F椎疾患	頸椎椎間板				小池
第18回	2		<u> </u>	腰部脊柱管				小池
第19回	2		F椎疾患	脊椎すべり		症•頚椎症		小池
第20回	2		F椎疾患	腰椎圧迫骨	折			小池
第21回	2		節リウマチ	疫学・病態・				小池
第22回	2		節リウマチ	評価·診断·				小池
第23回	2		関節疾患		∙靱帯損傷・(小池
第24回	2		節疾患③	Perthes病・				小池
第25回	2		計総論	分類·症状·		的治療		小池
第26回	2		予髄損傷	原因・脊髄シ				小池
第27回	2		予髄損傷	機能的予後				小池
第28回	2		肖神経損傷	腕神経叢損				小池
第29回	2		肖神経損傷	正中神経・凡			害	小池
ᄷᄼᄼᄝ		→ +>	L 구마 6Δ tc Ne	1 상사 머나 그로 누라 상고	三日子を	7卒 🖶		ملاديان

総腓骨神経・坐骨神経の障害

⑨小テストを評価する。

第30回

評価方法

2

末梢神経損傷

評価指標にて⑧振り返りシート、

山野井

山野井

山野井

						令和7年3	月1日記入	
コード番号	企業と	の連携	科目名	分野 専門基礎				
			中部中央	開講時期 1年後期	担当者	山野井	裕子	
20	× : 非	該当	内部障害論	授業時間 60	1			
	1		☑実務経験のを	る教員による授業	単位数	2 単位	演習	
科目概要•	目的			, o ,,,,,,,,				
	-	本内部の	遺害のことである。本授	業では、理学療法を実施		療法学•作業療		
				学療法士として病院・介		内科学 第5版		
			た経験に基づき講義を					
					キーワート	*		
					循環器、四	乎吸器、消化器、	血液、代	
	謝、内分泌、泌尿器、免疫、							
教育目標認	亥当項目				1			
23								
回数	時間		テーマ		₹∙到達目標	票	担当教員	
第1回	2		総論	内科学総論			山野井	
第2回	2		11	診断と治療の実際			山野井	
第3回	2		循環器	循環器の構造と機能			山野井	
第4回	2		<i>II</i>	循環器総論			山野井	
第5回	2		<i>II</i>	虚血性心疾患	山野井			
第6回	2		<i>II</i>	先天性心疾患、その他の	山野井			
第7回	2		<i>II</i>	末梢血管疾患			山野井	
第8回	2		<i>II</i>	画像、検査			山野井	
第9回	2		呼吸器	呼吸器の構造と機能			山野井	
第10回	2		11	慢性閉塞性肺疾患、その			山野井	
第11回	2		11	間質性肺炎、その他の推		患	山野井	
第12回	2		11	感染性肺疾患、その他の)肺疾患		山野井	
第13回	2		11	画像、検査			山野井	
第14回	2		消化器	消化器の構造と機能			山野井	
第15回	2		11	消化器疾患各論 食道、			山野井	
第16回	2		11	消化器疾患各論 小腸、			山野井	
第17回	2		II .	消化器疾患各論 、検査	法		山野井	
第18回	2		肝胆膵	肝胆膵の構造と機能			山野井	
第19回	2		<i>II</i>	肝胆膵疾患各論			山野井	
第20回	2		<i>II</i>	肝胆膵疾患各論、検査法	<u> </u>		山野井	
第21回 2 代謝 代謝の基礎						山野井		
第22回	2		<i>II</i>	糖尿病			山野井	
第23回	2		<i>II</i>	その他の代謝性疾患			山野井	
第24回	2		泌尿器	泌尿器と構造と機能			山野井	
第25回	2		<i>II</i>	慢性腎臓病、腎不全			山野井	
第26回	2		<i>II</i>	その他の泌尿器疾患			山野井	
第27回	2		血液	血液•造血期疾患各論	血液の腫瘍		山野井	

免疫の基礎

振り返りシート、成果物(授業資料)、小テストにて判断する。

膠原病、アレルギー

総括

第28回

第29回

第30回

評価方法

2

2

2

免疫

" まとめ

							令和7年3	月1日記入
<u>コード番号</u> 21		との連携 非該当	科目名 神経障害論 (うち30時間)	分野 開講時期 授業時間	<u>専門基礎</u> 1年後期 60	責任者	高澤	羊二
			☑実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	2 単位	演習
経験を活か 病因・病態 教育目標語	tとして いした授 ・治療・	業で、各 予後につ	経験と一般病院・訪問看 倫として脳血管障害と神 いて理解を図る。			医療情報 みえる7 キーワート 脳血管障:	著者/書名/発行 科学研究所/編脳・神経」メディッ ミ・神経難病・画 凶波等)・薬物療	集「病気が ノクメディア 像評価(脳
<u>②③</u> 回数	時間		テーマ		授業内容	┃ ҈ 到達目村	<u>=</u>	担当教員
第1回	^時 間 2		脳血管障害①	総論(血管など			-	高澤
第2回	2		脳血管障害②	虚血性脳血管	障害について	で理解する。		高澤
第3回	2		脳血管障害③	アテローム血材	拴性脳梗塞			高澤
第4回	2		脳血管障害④	心原性脳梗塞	・ラクナ梗塞			高澤
第5回	2		脳血管障害⑤	出血性脳血管	障害について	理解する。		高澤
第6回	2		脳血管障害⑥	被殼出血・視尿	末出血・脳幹に	出血 —————		高澤
第7回 ————	2		脳血管障害⑦	小脳出血・くも				高澤
第8回	2	外	傷性の神経障害 	脳梗塞の脳画				高澤
第9回	2		脳画像①	脳出血の脳画				高澤
第10回	2		脳画像②				病態を理解する 	高澤
第11回	2		脳画像③	正常な運動・恩				高澤 ————————————————————————————————————
第12回	2		車患者の病態理解① 	上位•下位運動				高澤
第13回	2		東患者の病態理解② 	上位•下位運動			(2)	高澤
第14回	2		痺患者の合併症① 	運動麻痺·感動				高澤
第15回	2		痺患者の合併症② ミニて⑥成果物(講義資料)	深部腱反射·角 料)、⑦成果物				高澤 (小テスト結
評価方	江		面し、さらにまとめテストを			_		

この科目は別に示す神経障害論(担当:臂)との合算評価とする。

科目全体の 評価方法

							令和7年3	月1日記入
<u>コード番号</u> 21		との連携 非該当	科目名 神経障害論 (うち30時間)	分野 開講時期 授業時間	<u>専門基</u> 1年後 60		音 臂貴	紀
			☑実務経験のあ	る教員によ	る授業	単位数		演習
間の実務総心にその認識を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表	士とし [*] 圣験を活 5因・病	5かした授 態・治療・	完・訪問看護ステ―ション 業で、各論として脳血管 予後について理解を図	管障害と神経剤		年 医療情: ウ みえる7 キーワ- 脳血管	(著者/書名/発行報科学研究所/編7 脳・神経」メディットドでまり・薬物療I・脳波等)・薬物療	集「病気が ウメディア 像評価(脳
<u>②③</u> 回数	時間		テーマ		授業内]容·到達[] 標	担当教員
第1回	2	Ē		優位半球障	35 41 141	10 21.21	- IV	臂
第2回	2	<u>-</u>	高次脳機能障害 	失語症と構音障害 脳画像から障害を予測できる。				臂
第3回	2		パーキンソン病	大脳基底核の機能から病態生理を理解する。				辟
第4回	2		11	主症状や経過について理解する。 L-dopa抗コリン剤等薬剤の効果、副作用を理解す				臂
第5回	2	/°	キンソン病関連疾患	パーキンソニズムについて理解する。				臂
第6回	2	筋氢	揍縮性側索硬化症				変化を理解する。	臂
第7回	2		11	症状から生し 				臂
第8回	2		多発性硬化症	る。			とについて理解す	臂
第9回	2		11		の薬物の	効果、副作	章害 :用を理解する。 	臂
第10回	2	耆	脊髄小脳変性症	小脳の機能				臂
第11回	2		11	病態生理・分主症状につい	ハて理解で	する。		臂
第12回	2	重症筋	ā無力症·多発性筋炎	病態生理、主			-	臂
第13回	2	内	科疾患と筋障害	病態生理、主				臂
第14回	2	感	染性•中毒性疾患				いて理解する。 	臂
第15回	2		総括	総復習と共同				臂
評価方	 i法	評価指標	にて⑥成果物(講義資	料) ⑨成果物	(小テスト	結果)を評価	西する。	

科目全体の評価 この科目は別に示す神経障害論(担当:高澤)との合算評価とする。

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎			
22	○∶該当	発達障害論	開講時期 授業時間	1年後期 15	担当者	小松	昌久
		☑実務経験のあ	る教員によ	単位数	1 単位	講義	
科目概要•	目的		教科書(著者/書名/発行所)				
ションの経	けとして35年間、一 験を活かした講 の高い小児疾患	理解できる。	上杉雅之 児理学	監修 『イラスト 学療法学』 医歯	・でわかる小 i薬出版		
対応を系統 的な評価法	の高い小児疾患 的かつ全人的に と理学療法の概 その重要性を学る	キーワート 脳性麻痺、	: . 二分脊椎 、染色	色体異常			

教育目標該当項目 ②③

2 3				
回数	時間	テーマ	授業内容•到達目標	担当教員
第1回	2	遺伝子・染色体異常・系統疾患	NICU・重症心身障害児と理学療法	小松
第2回	2	遺伝子·染色体異常·系統疾患	先天性奇形、Down症候群について	小松
第3回	2	水頭症・悪性腫瘍	各疾患に対する理解と運動療法について	小松
第4回	2	二分脊椎	二分脊椎の発生原因や疾患の特徴について	小松
第5回	2	脳性麻痺	脳性麻痺の概要について	小松
第6回	2	脳性麻痺	各病型に対する理解と運動療法について	小松
第7回	2	脳性麻痺	各病型に対する理解と運動療法について	小松
第8回	2	総括	まとめ	小松
評価方	法	小テスト・総合テスト・提出物・授	業態度を総合的に判断する。	

							令和7年3	月1日記入
<u>コード番号</u> 23	-	<u>との連携</u> 非該当	科目名 老年学	分野 開講時期 授業時間	専門基礎 2年前期	担当者	持田	誠
23	^ : 5	非談当	 ☑実務経験のあ		<u>30</u> る授業	単位数	2 単位	演習
科目概要•	目的			<u> </u>			<u></u>	
			とおり、 おります まります まりますす まります まります まります まります まります まります まります まります まりますす まります まります まります まります まります まります まります まります まりますす まります まります まります まります まります まります まります まります まりますす まります まります まります まります まります まります まります まります まりますす まります まります まります まります まります まります まります まります まりますす まりますすす まりますす まりますす まりますす まりますす まりますすす まりますすす まりますす まりますす まり			高齢者理	学療法学テキス	ト 南江堂
			する必要な知識を学ぶこ 機能、精神機能を整理し			キーワート	\$	
ることを期				V 10 41-21 10 10 1		加齢による	5変化、老年症候	
教育目標記	太少 TE F	=				ペニア、フ 末梢神経	レイル、認知症、 暗事	脊椎疾患、
我自由标记 123	メヨ块日	1				个们们	字 <u>一</u>	
回数	時間		テーマ					担当教員
第1回	2	加齢に	よる生理機能変化①	老化現象の	うち、生理的	機能		持田
第2回	2	加齢に	よる生理機能変化②	老化現象の	うち、生理的	機能		持田
第3回	2	加齢に	よる運動機能変化①	老化現象の	うち、運動機	能		持田
第4回	2	加齢に	よる運動機能変化②	老化現象の	うち、運動機	能		持田
第5回	2	加齢に	よる精神機能変化①	老化現象の	うち、精神機	能		持田
第6回	2	加齢に	よる精神機能変化②	老化現象の	持田			
第7回	2	老年期	に特有の疾患・障害	老年症候群				持田
第8回	2	老年期	に特有の疾患・障害	フレイル				持田
第9回	2	老年期	引に特有の疾患・障害	サルコペニア	7			持田
第10回	2	老年期	に特有の疾患・障害	認知症				持田
第11回	2	老年期	に特有の疾患・障害	脊椎疾患				持田
第12回	2	老年期	に特有の疾患・障害	骨粗しょう症				持田
第13回	2	老年期	に特有の疾患・障害	末梢神経障				持田
第14回	2	老年期	に特有の疾患・障害	誤嚥性肺炎				持田
第15回	2	老年期	に特有の疾患・障害	褥瘡				持田

|評価指標にて⑦成果物(講義中に作成したノート)、⑨成果物(小テスト結果)を評価する。

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎			
		リハビリテーション概	開講時期	1年前期	担当者	小川 糸	记子
24	×:非該当	論 I	授業時間	30			
		☑実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	2 単位	講義
ᆁ		· ·			おんてい キャノコ	さ ュ ノチカノ シ ケ	=== \

|科目概要•目的

保健・医療・福祉の専門職である理学療法士として業務を実施するために 必要な、リハビリテーションの理念、社会保障制度ついて理解する。また、理 学療法を受ける患者や利用者の様々なニーズに対して対応できるように、保 院 細田多穂「理学療法概論テキスト」 健・医療・福祉の各領域についての法制度の動向やサービスの内容を理解 する。理学療法士として病院及び老人保健施設に15年勤務した経験をもと にした授業である。

|教科書(著者/書名/発行所)

鶴見隆正 編 「標準理学療法学 日 常生活活動学・生活環境学」 医学書 南江堂

キーワード

リハビリテーションの理念、社会保障 制度(医療・福祉制度、法規、関連制 度)

3(4)(5)(6)				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	リハビリテーションの理念	リハビリテーションの語源・定義・種類・目的を理解 する。	小川
第2回	2	障害と心理	障害を持つ患者の心理を理解する。	小川
第3回	2	障害分類	障害分類であるICIDH・ICFについて理解する。	小川
第4回	2	ICIDH・ICFの実践	ICIDH・ICFを実践することで理解を深める。	小川
第5回	2	ノーマライゼーションとは	ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデ ザインについて理解する。	小川
第6回	2	社会保障制度	社会保障制度の定義・分類・優先順位・種類について理解する。	小川
第7回	2	医療保険	医療保険制度について理解する。	小川
第8回	2	年金保険	公的年金制度について理解する。	小川
第9回	2	介護保険	介護保険について理解する。	小川
第10回	2	難病とは	国の難病対策について理解する。	小川
第11回	2	社会福祉の分野とサービス	社会福祉六法について理解する。	小川
第12回	2	障害者手帳とは	各種法律・手帳について理解する。	小川
第13回	2	生活保護法	生活保護法について理解する。	小川
第14回	2	老人福祉法 他	老人福祉法・高齢者の医療の確保に関する法律・ 健康増進法について理解する。	小川
第15回	2	国家試験対策	国家試験過去問題演習と解説	小川
評価方	法	課題の提出状況及び試験の結界	具を総合的に判断する。	

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門基礎		小川 紀子	
	×:非該当	夕 啦 括 ' 古 惟 - 込	開講時期	1年後期	担当者		
25		多職種連携論	授業時間	30			
		☑実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	2 単位	講義
科日概要•	日的				教科 聿(美	喜者/建名/発行	- 配)

患者・家族にとって最適の医療を効率的に提供するためには、職種間協働細田多穂「理学療法概論テキスト」南 にもとづく「チーム医療」の推進が必要である.講義では、医療の枠にとらわ れず、これから健康・医療・福祉の専門職を目指すものとして、対象者を中 心としたチーム医療の意義、多職種間のコミュニケーションの知識・技術およ。キーワード びその重要性を学ぶ。理学療法士として一般病院5年間、介護老人保健施 設10年間の実務経験を活かした授業である。

江堂

多職種連携・チーム医療の中での専 門職種とその役割・職業倫理・リスク マネジメント・クリニカルパス

456				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	多職種連携の場所とは	リハビリテーション医療・職業リハビリテーション・地域リハビリテーションについて理解する。	小川
第2回	2	リハビリテーションの流れ	リハビリテーション・理学療法の流れについて理解 する。	小川
第3回	2	社会資源について	社会資源について理解する。	小川
第4回	2	患者中心の医療	患者中心の医療について理解する。	小川
第5回	2	多職種連携	チームアプローチ・チーム医療について理解する。	小川
第6回	2	医療・福祉の専門職種	医療・福祉の専門職種について理解する。	小川
第7回	2	職業倫理	専門職に求められる職業倫理について理解する。	小川
第8回	2	身分法	理学療法士及び作業療法士法について理解する。	小川
第9回	2	インフォームドコンセント	インフォームドコンセントについて理解する。	小川
第10回	2	守秘義務	守秘義務・個人情報保護法について理解する。	小川
第11回	2	リスクマネジメント	リスクマネジメントについて理解する。	小川
第12回	2	感染予防	感染予防について理解する。	小川
第13回	2	クリニカルパス・EBM	クリニカルパス・EBMについて理解する。	小川
第14回	2	施設基準と診療報酬	理学療法に関連する施設基準と報酬について理解 する。	小川
第15回	2	事例検討	ロールプレイング(事例に対して多職種連携の実際を学ぶ)	小川
評価方	ī法	課題の提出状況及び試験の結果	是を総合的に判断する。	

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門		小川 紀子	
		生活環境論	開講時期	1年後期	担当者		
26	× : 非該当		授業時間	30			
		☑実務経験のある教員による授業			単位数	1 単位	演習
利日概更.	日的				数科聿(喜考/建名/発行	- 所)

生活環境は、障害の有無に関わらず人が生きていく上で最も身近で、基本 的に存在するものである。障害者や高齢者が、回復・維持された身体機能を 有効に活用するためには、社会的環境に広く目を向けることは重要である。 生活環境論では、そのための基本的な理念と知識について学習する。理学 療法士として一般病院5年間、介護老人保健施設10年間の実務経験を活か した授業である。

鶴見隆正 編 「標準理学療法学 日 常生活活動学·生活環境学 第5版」 医学書院

キーワード

家族、家庭·住環境·地域環境·職場 環境・環境の構造・環境と固体

回数	時間	テーマ		担当教員
第1回	2	·	ノーマライゼーション・バリアフリー・ユニバーサルデ	
第2回	2	生活環境学の概念	ザイン・アクセシビリティについて理解する。	小川
第3回	2	生活環境を構成する要素	生活環境を構成する要素について理解する。	小川
第4回	2	物理的環境	物理的環境について理解する。	小川
第5回	2	車椅子	車椅子の分類・種類・指導方法について理解する。	小川
第6回	2	步行補助具	歩行補助具の種類・機能・適応について理解する。	小川
第7回	2	自助具·補装具	自助具・補装具の種類・適応について理解する。	小川
第8回	2	経済的環境	経済的環境について理解する。	小川
第9回	2	制度的環境	制度的環境について理解する。	小川
第10回	2	人的環境	人的環境について理解する。	小川
第11回	2	住宅·住宅改修	生活環境としての住宅・住宅改修	小川
第12回	2	住宅改修の実践	建築知識の基本と図面化	小川
第13回	2	住環境整備の基本的配慮	住宅部位への配慮	小川
第14回	2	はなが正開いを全切印 慮	各部屋への配慮	小川
第15回	2	地域環境と公共交通	地域環境と公共交通について理解する。	小川
評価方	法	課題の提出状況及び試験の結果	見を総合的に判断する。	

菊地

コード番号 27		との連携 非該当	科目名 運動療法総論	分野 開講時期 授業時間	<u>専門</u> 1年後期 30	担当者	菊地	潤	
た授業で、	士とし [*] 新人理	学療法士	☑実務経験のあ 斗病院、診療所にて15年 として勤務する上で必要	る教員による	験を活かし	吉尾 雅春 論」医学書			
教育目標記 ②③									
回数	時間		テーマ		授業内容	⊶到達目標	崇	担当教員	
第1回	2		運動と栄養	栄養と運動を	・併用する効	果を知る。 		菊地	
第2回	2	関領	節可動域運動(1)	関節可動域	関節可動域運動の目的を知る。				
第3回	2	関領	節可動域運動(2)	関節可動域	関節可動域運動の方法を知る。				
第4回	2	関領	節可動域運動(3)	重動(3) 上肢の関節可動域運動の方法を知り実践する。					
第5回	2	関領	節可動域運動(4)	下肢の関節	可動域運動여	の方法を知	り実践する。	菊地	
第6回	2	関領	節可動域運動(5)	頸部・体幹の	関節可動域	運動の方法:	を知り実践する。	菊地	
第7回	2		運動と栄養	運動と栄養に	こよる骨格筋	量の増加を	生知る。	菊地	
第8回	2	筋	力増強運動(1)	筋力増強運	動の目的を知	知る。		菊地	
第9回	2	筋	力増強運動(2)	筋力増強運	動の方法を知	知る。		菊地	
第10回	2	筋	力増強運動(3)	上肢の筋力	増強運動の	方法を知り	実践する。	菊地	
第11回	2	筋	力増強運動(4)	下肢の筋力	増強運動の	方法を知り	実践する。	菊地	
第12回	2	筋	力増強運動(5)	頸部・体幹の	筋力増強運	動の方法を	を知り実践する。	菊地	
第13回	2		テーピング(1)	テーピングの	目的∙方法	を知る。		菊地	
第14回	2		テーピング(2)	上肢のテート	 ピングの方法	を知り、実	 践する。	菊地	

下肢のテーピングの方法を知り、実践する。

テーピング(3)

講義終了後に総合テストにて判断する。

第15回

評価方法

2

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門					
28	×:非該当	臨床運動学	開講時期 授業時間	2年前期 30	担当者	臂 貴紀			
		☑実務経験のあ	単位数	2 単位	演習				
科目概要•	目的	教科書(著者/書名/発行所)							
		完・訪問看護ステーション							
					用講座」メディカルビュー社				
		定を行う機会が多くあり							
や誘導のキ	F一ポイントを考え	えたり、異常動作の原因	を推論するこ	とが重要と					
なります。そのため、臨床的に用いられる観察を中心とした運動分析, 動作						キーワード			
分析を講義を通して学習する。						立位·坐位·起居移動動作·筋電図·動			
		画での観察	察•分析						

2				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	立位姿勢	矢状面からの観察点を理解する。	臂
第2回	2	立位姿勢の観察・分析	観察し姿勢の原因を解剖運動学側面でに理解できる。	臂
第3回	2	坐位の姿勢	正常の坐位姿勢の特徴を理解する。	辟
第4回	2	坐位の観察・分析	観察し姿勢の原因を解剖運動学側面でに理解できる。	臂
第5回	2	寝返り	寝返り動作の仕組み、観察のポイントを理解する。	臂
第6回	2	寝返り観察・分析	所定のシートに寝返りの観察を記載する。	臂
第7回	2	寝返りでの逸脱動作・原因	逸脱の代表的なパターンを理解する。	臂
第8回	2	起き上がり	起き上がりの仕組み、観察のポイントを理解する。	臂
第9回	2	起き上がり逸脱動作・原因	逸脱動作の原因について理解する。	臂
第10回	2	立ち上がり	正常の立ち上がり動作について理解する。	臂
第11回	2	立ち上がりでの逸脱動作・原因	逸脱動作の原因について理解する。	臂
第12回	2	歩行の観察	所定のシートに歩行の観察を記載する。	臂
第13回	2	歩行での逸脱動作	逸脱動作の原因について理解する。	臂
第14回	2	歩行での逸脱の原因	逸脱動作の原因について理解する。	臂
第15回	2	症例動作分析	動画にて逸脱動作の観察・分析表現ができる。	臂
評価方	法	評価指標にて⑥成果物(講義資)	料)⑨成果物(小テスト結果)を評価する。	

							令和7年3	月1日記入	
コード番号	企業	との連携	科目名	分野	専門	主に土	47.114.	17	
29	0	:該当	理学療法管理学	開講時期 授業時間	<u>3年前期</u> 30	責任者	小川紀	5 7	
			☑実務経験のあ			単位数	2 単位	講義	
科目概要・							雪者/書名/発行		
			と外に視野を広げ地域 st				・他「リハビリテー :践ガイドブック」	-ション管	
			か、その拠点となるリハヒ ない。5年間のリハビリテ						
つ教員と臨	床で働	く現職管理	理職理学療法士を外部	講師に招き、網	組織の能力	キーワート			
を最大限に	を最大限に発揮させるための具体的な管理・教育について系統的に学び、リリハビリテーション及び理学								
			世について理解を深める	0			営・安全管理(イ)		
教育目標記 ②③	《ヨ垻日	Ⅎ					等)•情報管理(記 情報保護等)	乡 撩	
回数	時間		テーマ		授業内容	・到達目標		担当教員	
第1回	2	IJ,	ヽビリテーション科 における管理	専門職の	職場管理∙(OJT・上司と	:部下の関係	小川	
第2回	2		組織化①	組織と	≟は何か・部	門別体制・	質的管理	小川	
第3回	2		組織化②	リハビリテーション部門組織				小川	
第4回	2		業務管理		外部講師				
第5回	2		人事労務管理	倫理的	り原則・人事	計画・イン	センティブ	外部講師	
第6回	2	4	数育システム①	生涯:	学習・キャリ	ア形成・人材	才育成法	外部講師	
第7回	2	力	教育システム②	職制	€団体とは・問	临床実習指	導方法	外部講師	
第8回	2		管理職とは	1	Jーダーシッ	プ・マネジィ	シト	外部講師	
第9回	2		経営管理①		効果的な	な収益管理		外部講師	
第10回	2		経営管理②		物品管理	_費用対効:	果	外部講師	
第11回	2	地域	保健・医療・福祉①		地域图	医療連携		外部講師	
第12回	2	地域	保健•医療•福祉②		介護予	序防活動		外部講師	
第13回	2	地域	保健・医療・福祉③	対外活動の重要性				外部講師	
第14回	2	リフ	スクマネジメント①	リス	リスクマネジメントとは・苦情対応				
第15回	2	IJŹ	スクマネジメント②	安全管	安全管理(インシデント、感染対策等)				

|課題の提出状況及び試験の結果を総合的に判断する。

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業。	との連携	科目名	分野	専門			
30	× ; ;	非該当	理学療法評価学	開講時期 授業時間	<u>1年後期</u> 60	担当者	菊地	潤
		, H, , , , ,	☑実務経験のあ			単位数	2 単位	演習
科目概要・	目的	·					香者/書名/発行	
理学療法	±とし ⁻	て整形外種	斗病院、診療所にて15年	間の実務経験	険を活かし		編著 「15レクチ	
			の流れにおける評価の				法テキスト 理	
			する。評価方法の種類や			学·実習」	中山書店	
			測定、Danielsらの徒手					
を中心に第	を中心に実施し、その検査の目的や結果の解釈について理解する。 査法 原著第10版」協同医書出							
						キーワート	*	
						①バイタル	ノサイン	
						②四肢長		
教育目標語	亥当項目					③関節可	動域	
123						④筋力		
回数	時間		テーマ			▪到達目標		担当教員
第1回	2	理学療	§法評価の位置づけ	評価の一連の				菊地
第2回	2		情報収集	患者情報等の				菊地
第3回	2		バイタルサイン	覚醒状態や服		いて		菊地
第4回	2		形態測定①	四肢長の概要				菊地
第5回	2		形態測定②		検査の実施、記録			菊地
第6回	2		形態測定③	周径の概要に				菊地
第7回	2		形態測定④	検査の実施、記録				菊地
第8回	2		節可動域測定①	関節可動域》		こついて		菊地
第9回	2		節可動域測定②	肩関節の測定				菊地
第10回	2		節可動域測定③	肘関節・前腕				菊地
第11回	2		節可動域測定④	手関節・手指				菊地
第12回	2		節可動域測定⑤	股関節の測定		메스가		菊地
第13回	2		節可動域測定⑥	膝関節・足関		則正法		菊地
第14回	2		節可動域測定⑦	頸部・胸腰部				菊地
第15回	2		節可動域測定 <u>⑧</u> ŧ手筋力検査①	肩甲帯の測算 徒手筋力検査		ンハア		菊地
第16回 第17回	2		E于朋力快重① E手筋力検査②	股関節の筋力		J () (菊地 菊地
<u>第17回</u> 第18回	2		E于丽力快重② E手筋力検査③	股関節の筋力				
第19回	2		<u>と于別の検査の</u> と手筋力検査④	膝関節の筋力				<u>菊地</u> 菊地
第20回	2		<u>是于朋力快量等</u> 是手筋力検査⑤	足関節・足部		(1)		菊地
第21回	2		走了 <i>朋力</i> 校盘》 走手筋力検査⑥	肩甲骨周囲				菊地
第22回	2		<u>E </u>	肩甲骨周囲				菊地
第23回	2		<u>E </u>	肩関節の筋		<u> </u>		菊地
第24回	2		<u>E </u>	肩関節の筋				菊地
第25回	2		<u>E于協力検査⑩</u> E手筋力検査⑩	肘関節·前腕		(1)		菊地
第26回	2		<u> </u>	手関節の筋				菊地
第27回	2		<u>E手筋力検査⑫</u>	体幹の筋力				菊地
第28回	2		走 <u>了 </u>					菊地
第29回	2		<u> </u>					菊地
第30回	2	<u> </u>	まとめ	学習のまとめ				
	男30回 2 まとの 子首のまとの 一							菊地

全講義終了後に実技試験にて判断する。

	A 444 1	o '= #	11 🗆 🕏	/\ m 2			令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	:の連携	科目名	分野	<u>専門</u>	+ 1- +	<u> </u>	×
31	× :	 	理学療法評価学演習	開講時期 授業時間	<u>2年前期</u> 120	責任者	高澤洋	₽ <u> </u>
			☑実務経験のあん	る教員による	万授業	単位数	4 単位	演習
科目概要・	目的	•	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				香者/書名/発行	17.1.
理学療法	士として	この19年の	の経験と一般病院・訪問看	護ステーショ	ンでの実務			
			学療法の一連の流れにお					
明し、評価の意義・目的について講義する。評価方法の種類、主な検査測定								
			駅について説明する。また		5結果を統	キーワート		
合・解釈す	る方法を	と学び、疾	民患の症状について理解を	F深める。		身体測定、	. 関節可動域、筋	力
教育目標詞	亥当項目							
126					- 1 - 11/ 1			
	時間		テーマ			₹∙到達目標	祟	担当教員
第1回	2			疼痛について				高澤
第2回	2		<u> 疼痛検査② </u>	疼痛検査方				高澤
第3回	2		疼痛検査③	各検査結果		ぱについて		高澤
第4回	2		知覚検査①	知覚について				高澤
第5回	2		知覚検査②	表在感覚検				高澤
第6回	2		知覚検査③	深部·複合感				高澤
第7回	2		知覚検査④	各検査結果				高澤
第8回	2		反射検査①	表在·深部股		こついて		高澤
第9回	2		反射検査②	病的反射検				高澤
第10回	2		反射検査③	姿勢反射検				高澤
第11回	2		反射検査④	各検査結果		ぱについて		高澤
第12回	2		筋緊張検査①	筋緊張につい				高澤
第13回	2		筋緊張検査②	被動性・懸振				高澤
第14回	2		筋緊張検査③	各検査結果		引について		高澤
第15回	2		脳神経検査①	脳神経につい				高澤
第16回	2		脳神経検査②	脳神経検査				高澤
第17回	2		脳神経検査③	各検査結果				高澤
第18回	2		莱 痺運動機能検査①		一ム法検査			高澤
第19回	2		莱 痺運動機能検査②	ブルンストロ				高澤
第20回	2		莱 痺運動機能検査③		ーム法検査		V • V • VI	高澤
第21回	2	片原	F東運動機能検査④		麻痺機能検	_		高澤
第22回	2		F東運動機能検査⑤	12段階式片				高澤
第23回	2		Ŧ痺運動機能検査⑥ 	各検査結果		パについて		高澤
第24回	2		認知機能検査①	認知機能に				高澤
第25回	2		認知機能検査②				MMSEについて	高澤
** 0 C 🗔			-17 km +kk +kk +人 本 ②	夕松木红田	ヘーコムコ 4刀 切	71-01.7	-	十二

各検査結果の記録、解釈について

各検査結果の記録、解釈について

運動失調の分類、協調性検査について

高次脳機能について

失行・失認に対する検査

高澤

高澤

高澤

高澤

高澤

第26回

第27回

第28回

第29回

第30回

2

2

2

2

2

認知機能検査③

高次脳機能検査①

高次脳機能検査②

高次脳機能検査③

協調性検査①

			13 1H / 1 O	/) . [] [] [] (
コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門		高澤 洋二	
		用尚虔计部体学家	開講時期	2年前期	責任者		
31	×:非該当	理学療法評価学演習	授業時間	120			
		☑実務経験のある	授業	単位数	4 単位	演習	
科目概要•	目的	教科書(清	· 香者/書名/発行	所)			
理学療法	士としての19年(松澤 正	著 「理学療法評	価学」			
経験を活か	11.た授業で 理算	"置づけを説	金原出版	失式会社			

明し、評価の意義・目的について講義する。評価方法の種類、主な検査測定 項目、評価結果の記録・解釈について説明する。また、各種の評価結果を統合・解釈する方法を学び、疾患の症状について理解を深める。

キーワード

身体測定、関節可動域、筋力

126				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第31回	2	協調性検査②	各検査結果の記録、解釈について	高澤
第32回	2	バランス検査①	バランスについて	高澤
第33回	2	バランス検査②	ロンベルグ試験・マン試験・片脚立位試験について	高澤
第34回	2	バランス検査③	FRT・BBS・TUGについて	高澤
第35回	2	バランス検査④	各検査結果の記録、解釈について	高澤
第36回	2	呼吸•循環•代謝検査①	血圧・脈拍測定・6分間歩行について	高澤
第37回	2	呼吸∙循環∙代謝検査②	各検査結果の記録、解釈について	高澤
第38回	2	日常生活活動検査①	日常生活活動について	高澤
第39回	2	日常生活活動検査②	Barthel Indexについて	高澤
第40回	2	日常生活活動検査③	FIMについて①	高澤
第41回	2	日常生活活動検査④	FIMについて②	高澤
第42回	2	日常生活活動検査⑤	各検査結果の記録、解釈について	高澤
第43回	2	総復習	各検査・評価を臨床に即して実施する	高澤
第44回	2	総復習	各検査・評価を臨床に即して実施する	高澤
第45回	2	総復習	各検査・評価を臨床に即して実施する	高澤
第46回	2	総復習	各検査・評価を臨床に即して実施する	高澤
第47回	2	整形外科疾患検査①	体幹部疾患検査について	菊地
第48回	2	整形外科疾患検査②	上肢疾患検査について	菊地
第49回	2	整形外科疾患検査③	下肢疾患検査について	菊地
第50回	2	整形外科疾患検査④	各検査結果の記録、解釈について	菊地
第51回	2	理学療法練習①	変形性膝関節症の情報収集	専任
第52回	2	理学療法練習②	変形性膝関節症の検査測定	専任
第53回	2	理学療法練習③	変形性膝関節症の検査測定	専任
第54回	2	理学療法練習④	人工骨頭置換術後の情報収集	専任
第55回	2	理学療法練習⑤	人工骨頭置換術後の検査測定	専任
第56回	2	理学療法練習⑥	人工骨頭置換術後の検査測定	専任
第57回	2	理学療法練習⑦	脳卒中急性期の情報収集	専任
第58回	2	理学療法練習⑧	脳卒中急性期の検査測定	専任
第59回	2	理学療法練習⑨	脳卒中急性期の検査測定	専任
第60回	2	理学療法練習⑩	脳卒中維持期の情報収集	専任
評価方	法	評価指標にて⑨成果物(小テスト紀	ま果)を評価し、さらにまとめテストを実施する。	

							71/11/11	3月1日記人
コード番号	企業と	≤の連携	科目名	分野	専門			
			理学療法評価技術論	開講時期	2年後期	責任者	小池	武則
32	× : ₹	非該当	生于 原本計画权刑論	授業時間	120			
			☑実務経験のあん	る教員による	5授業	単位数	4 単位	演習
科目概要•	目的					教科書(著	香者/書名/発 ³	行所)
整形障害•	神経障	害・内部隊	章害の臨床を5年以上経験	倹している講	师による授	指定しない	١	
			応させた検査・治療方法を					
			果の解釈や、他情報との					
	握、それをもとにした問題点抽出・目標設定を複数の症例を検討しながら学ん キーワード							
でいく。	でいく。							
							害の解釈 ③医	
教育目標語	亥当項目						集 ⑤問題点抽	出出
123					1=: 3116 -1	⑥目標設定		
<u>回数</u>	時間	T[11 222 -	テーマ	- 		·到達目標	 	担当教員
第1回	2		療法見学および練習①		節症の情報			小池
第2回	2		療法見学および練習①		節症の検査			小池
第3回	2		療法見学および練習①		節症の検査			小池
第4回	2		療法見学および練習②		換術後の情			菊地
第5回	2		療法見学および練習②		換術後の検			菊地
第6回	2		療法見学および練習②		換術後の検			菊地
第7回	2		療法見学および練習③		期の情報収集			高澤
第8回	2		療法見学および練習③		期の検査測況			高澤
第9回	2		療法見学および練習③		期の検査測況			高澤
第10回	2		療法見学および練習④	脳卒中維持				臂
第11回	2		療法見学および練習④	脳卒中維持				臂
第12回	2		療法見学および練習④		期の検査測況		n.l #-	臂
第13回	2		療法見学および練習⑤		リテーションに			小川
第14回	2		療法見学および練習⑤	地域リハビリ				小川
第15回	2		療法見学および練習⑤	地域リハビリ]]]]]]]]]]]]]]]]]]]	小川
第16回	2		療法見学および練習⑥	内部障害に				山野井
第17回	2		療法見学および練習⑥		おける検査測			山野井
第18回	2		療法見学および練習⑥		おける検査測			山野井
第19回	2		理学療法練習①		期の検査測			専任
第20回	2		理学療法練習②		期の検査測況		7 Jp #=	専任
第21回	2		理学療法練習③	地域リハビリ				専任 事任
第22回	2		理学療法練習④	地域リハビリ				専任
第23回	2		理学療法練習⑤		ナル・ストランに		1測正	専任
第24回	2		理学療法練習⑥		おける情報収			専任
第25回	2		理学療法練習⑦		おける検査測			専任
第26回	2		理学療法練習⑧		おける検査測	川正		専任
第27回	2		記録	問題点抽出				専任
第28回	2		記録	問題点抽出				高澤
第29回	2		記録	統合と解釈				高澤
第30回	2		記録	統合と解釈				高澤

								741/43	3月1日記入
コード番号	企業と	≥の連携	科目	名	分野	専門			
			理学療法評	油 齿纸盒	開講時期	2年後期	責任者	小池	武則
32	× :	非該当	连于原広計	一個投机調	授業時間	120			
			☑実務	経験のあん	る教員による	5授業	単位数	4 単位	演習
科目概要•	目的						教科書(清	· 香者/書名/発	行所)
			章害の臨床を5				指定しなし	١	
			応させた検査						
			果の解釈や、						
	もとにし	た問題点	i抽出·目標設	定を複数の	症例を検討し	ながら字ん			
でいく。								列への検査法	****
	+ 1// += [_						害の解釈 ③医	
教育目標語	乡当 垻日	3						集の問題点抽	出
123	n± 88				1	拉莱山家	⑥目標設: - 本()表 ロ t		ᅡᄱᄿᄽᄝ
回数	時間		テーマ		 	技未 内谷	⊶到達目標	示	担当教員
第31回	2		記録		ゴール設定 ゴール設定				高澤
第32回 第33回	2		<u>記録</u> 記録		治療プログラ	1. 立安			高澤 高澤
	2				治療プログラ				
第34回 第35回	2				各情報の解				高澤高澤
第36回	2		<u> </u>		各情報の解				<u></u> 専任
第37回	2		<u> </u>		各情報の解				<u>早年</u> 専任
第38回	2		<u>症例検討</u> 症例検討		各情報の解				専任
第39回	2		<u>症例検討</u> 症例検討		検査結果の				専任
第40回	2		<u>症例検討</u> 症例検討		検査結果の				専任
第41回	2		症例検討		検査結果の				専任
第42回	2		症例検討		検査結果の				専任
第43回	2		症例検討		検査結果の				専任
第44回	2		症例検討		検査結果の				専任
第45回	2		症例検討		検査結果の				専任
第46回	2		症例検討		動作の解釈				専任
第47回	2		症例検討		動作の解釈				専任
第48回	2		症例検討		動作の解釈				専任
第49回	2		症例検討		問題点抽出				専任
第50回	2		症例検討		問題点抽出				専任
第51回	2		症例検討		統合と解釈				専任
第52回	2		症例検討		統合と解釈				専任
第53回	2		症例検討		ゴール設定				専任
第54回	2		症例検討		ゴール設定				専任
第55回	2		症例検討		治療プログラ				専任
第56回	2		症例検討		治療プログラ	ラム立案			専任
第57回	2		症例検討		予後予測				専任
第58回	2		症例検討		予後予測				専任
第59回	2		症例検討		多職種連携				専任
第60回	2		症例検討		多職種連携				専任
評価方	法	実技試験	🖟、総合テスト、	症例報告を	総合的に評	価する。			

令和7年3月1日記λ

					サイル・サン	月1日記入		
業との連携	科目名	分野	専門					
		開講時期	2年前期	担当者	小池 武則			
×:非該当	整形障害理学療法	授業時間	60	15-3-6				
	☑実務経験のあ	る教員による	5授業	単位数	2 単位	演習		
勺				教科書(著者/書名/発行所)				
して整形外科	病院にて十二年勤務した	た経験から、翁	斤人理学療	加藤浩 編集/Crosslink 理学療法学				
						療法学/メ		
は整形障害領	域の理学療法評価の意	味と、理学療	法プログラ	ジカルビュ				
いて、機能形	態学・運動機能学の観点	点から説明が [~]	できるよう					
的とする。			①各疾患(の病態				
②各疾患の理学療法評価								
項目		③各疾患(の理学療法					
	×:非該当 つて整形外科 めまを上で必要 は整形障害領 いて、機能形 的とする。	※:非該当 整形障害理学療法 ②実務経験のあ ので整形外科病院にて十二年勤務した。 と思われる理学療法の は整形障害領域の理学療法評価の意いて、機能形態学・運動機能学の観点 のとする。	整形障害理学療法 提業時間 型実務経験のある教員による の とて整形外科病院にて十二年勤務した経験から、新 務する上で必要と思われる理学療法の展開法につい は整形障害領域の理学療法評価の意味と、理学療 いて、機能形態学・運動機能学の観点から説明が 的とする。	※:非該当 整形障害理学療法 開講時期 2年前期 授業時間 60 受実務経験のある教員による授業 でで整形外科病院にて十二年勤務した経験から、新人理学療 あする上で必要と思われる理学療法の展開法について授業すな整形障害領域の理学療法評価の意味と、理学療法プログラいて、機能形態学・運動機能学の観点から説明ができるよう的とする。	※:非該当 整形障害理学療法 開講時期 2年前期 担当者 授業時間 60 受実務経験のある教員による授業 単位数 2年整形外科病院にて十二年勤務した経験から、新人理学療 加藤浩 線 5 テキスト 3 対 2 を形障害領域の理学療法評価の意味と、理学療法プログラいて、機能形態学・運動機能学の観点から説明ができるよう おーワート ①各疾患の②各疾患の	* 注との連携 科目名 分野 専門 開講時期 2年前期 担当者 小池 対 授業時間 60		

234	~— <u></u>	-		
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	変形性膝関節症	病態・理学療法評価・検査について	小池
第2回	2	変形性膝関節症	評価の意味	小池
第3回	2	変形性膝関節症	理学療法	小池
第4回	2	人工骨頭置換術後	病態・理学療法評価・検査について	小池
第5回	2	人工骨頭置換術後	評価の意味	小池
第6回	2	人工骨頭置換術後	ADL指導	小池
第7回	2	人工骨頭置換術後	理学療法	小池
第8回	2	一般的な運動療法	足関節·膝関節	小池
第9回	2	一般的な運動療法	股関節	小池
第10回	2	TKA術後	病態・理学療法評価・検査・理学療法について	小池
第11回	2	腰椎椎間板ヘルニア	病態・理学療法評価・検査・理学療法について	小池
第12回	2	腰部脊柱管狭窄症	病態・理学療法評価・検査・理学療法について	小池
第13回	2	一般的な運動療法	 体幹	小池
第14回	2	一般的な運動療法	肩関節	小池
第15回	2	五十肩	病態・理学療法評価・検査・理学療法について	小池
第16回	2	半月板損傷	病態・理学療法評価・検査・理学療法について	小池
第17回	2	膝靭帯損傷	病態・理学療法評価・検査・理学療法について	小池
第18回	2	アキレス腱断裂	病態・理学療法評価・検査・理学療法について	小池
第19回	2	整形外科的評価の意味	変形性膝関節症	小池
第20回	2	整形外科的評価の意味	変形性膝関節症	小池
第21回	2	整形外科的評価の意味	腰椎椎間板ヘルニア	小池
第22回	2	整形外科的評価の意味	腰部脊柱管狭窄症	小池
第23回	2	整形外科的評価の意味	肩関節周囲炎	小池
第24回	2	整形外科的評価の意味	大腿骨頸部骨折	小池
第25回	2	整形外科的評価の意味	大腿骨頸部骨折	小池
第26回	2	整形外科的評価の意味	TKA	小池
第27回	2	整形外科的評価の意味	TKA	小池
第28回	2	整形外科的評価の意味	ACL損傷	小池
第29回	2	整形外科的評価の意味	ACL損傷	小池
第30回 2 整形外科的評価の意味			ACL損傷	小池
評価方	法	評価指標にて⑧振り返りシート、	⑨小テストを評価する。	

							令和7年3	月1日記入	
コード番号	企業。	との連携	科目名	分野 開講時期	専門 2年前期	またセ	吉 馃 2	+ —	
34	× :	非該当	神経障害理学療法 (うち30時間)	授業時間	60	責任者	高澤洋	F—	
到日柳西			☑実務経験のあ	る教員による	演習				
科目概要· 理学療法	-	ての19年の	の経験と一般病院・訪問	看護ステーシ	ョンでの実	<u>教科書(</u> 医療情報)	賽者∕書名∕発行 科学研究所╱編	<u>፲//፲/)</u> 集「病気が	
			解剖学・神経内科学で学 ノ、さらに理学療法との関			みえる7	脳・神経」メディッ	クメディア	
また中枢神	経障	病態生理	里を理解し、機能回復の7			キーワート			
法についく	しの知詞	なから	けることを目標とする。				害、PD、SCD、AI 瘍、認知障害、	LS, MS	
教育目標記 234	教育目標該当項目 高次脳機能障害 高次脳機能障害 (1)								
回数	時間		テーマ		授業内容	•到達目	= 示	担当教員	
第1回	2	片	麻痺について①	片麻痺患者(の回復過程			高澤	
第2回	2	片	麻痺について②	片麻痺患者(の急性期			高澤	
第3回	2	片	麻痺について③	片麻痺患者(高次脳機能)		<u> </u>		高澤	
第4回	2	片	麻痺について④	片麻痺患者の回復期② 前庭性めまい				高澤	
第5回	2	片	麻痺について⑤	片麻痺患者(の維持期			高澤	
第6回	2	片	麻痺患者の姿勢	片麻痺患者(の姿勢メカニ	ズムと代償		高澤	
第7回	2	片原	麻痺患者の動作①	片麻痺患者(寝返り・起き.		ニズムと代	:償	高澤	
第8回	2	片原	麻痺患者の動作②	片麻痺患者の 立ち上がりの		と代償		高澤	
第9回	2	片	麻痺患者の歩行	片麻痺患者(の歩行メカニ	ズムと代償		高澤	
第10回	2	片原	麻痺患者の治療①	BSR I ∼ II ∕	への治療			高澤	
第11回	2	片原	麻痺患者の治療②	BSRⅡ~Ⅲ/	への治療			高澤	
第12回	2	片原	麻痺患者の治療③	BSRⅢ~Ⅳ/	への治療			高澤	
第13回	2	片原	麻痺患者の治療④	BSRIV∼V∕	への治療			高澤	
第14回	2	片原	麻痺患者の治療⑤	BSRV∼VI∕	への治療			高澤	
第15回	2		総括	まとめ				高澤	
評価方	 ī法		にて⑥成果物(講義資料 面し、さらにまとめテストを		で 講義中に	作成したノ-	一ト)、⑨成果物((小テスト結	

この科目は別に示す神経障害理学療法(担当:臂)との合算評価とする。

科目全体の 評価方法

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業	との連携	科目名	分野	専門			
			神経障害理学療法	開講時期	2年前期	担当者	臂 貴	紀
34	× :	非該当	(うち30時間)	授業時間	60			
4. E. 107 T.			☑実務経験のあ	る教員による	授業	単位数	2 単位	演習
科目概要•	-	ァニ ሰル・中の	ウ. 計明手継っ二 こっこ	='/# Ľ'	フルブ10年		<u> </u>	
			完・訪問看護ステーション :業で、解剖学・神経内科				は子研先別/ 禰 脳・神経」メディッ	
			准認をし、さらに理学療法				/リハビリテーショ	
			態生理を理解し、機能回		本的な理	活かす画作	象のみかた/南江	堂
学療法につ	ついての)知識を身	·につけることを目標とす	る。				
	キーワード 脳血管障害、PD、SCD、ALS、							
							害、PD、30D、Ai 瘍、認知障害、	-S, IVIS
教育目標認	亥当項目]				高次脳機能		
234	L - L	1		_	15 W	7.0 + 5 .11	-	
回数	時間		テーマ	実も時中しか		・到達目標		担当教員
第16回	2		パーキンソン病	連動障害と非 する。	連動障害0	ソリハヒリテ	ーションを理解	臂
第17回	2		11	重症度や薬効 解する。	カ用に合わせ	せたリハビ!	Jテーションを理	臂
第18回	2		"		ケース	スタディ		辟
第19回	2	筋氢		重症度に合え する。	っせたリハビ	`リテーショ:	ンと禁忌を理解	臂
第20回	2		11	呼吸状態に合 痰の方法につ			管理、吸引、排	臂
第21回	2		多発性硬化症	重症度に合える。	つせたリハビ)リテーショ:	ンと禁忌理解す	臂
第22回	2		11	ステロイド療法の関わり方			わせた理学療	臂
第23回	2		<i>II</i>		ケース	スタディ		臂
第24回	2	1	脊髄小脳変性症	協調運動障害	害のリハビリ	テーション	を理解する。	臂
第25回	2		11	SCDの分類こ	ごとのリハビ	リテーション	を理解する。	辟
第26回	2	重症筋	5無力症・多発性筋炎	重症度に合わ する。	っせたリハビ	`リテーショ:	ンと禁忌を理解	臂
第27回	2	外傷	· 性脳損傷 · 脳腫瘍	重症度に合え 画像所見から る。			ンを理解する。 スクを理解す	臂
第28回	2	Ĵ	筋ジストロフィー	病態生理・症 各病型の特長			f見を理解する。	辟
第29回	2		11	各病型の進行	テの速度と科	星度を理解 [・]	する。	辟
第30回	2		II .	病期・病型に	合わせた理	学療法を理	里解する。	臂
評価方法 評価指標にて⑥成果物(講義資料)⑨成果物(小テスト結果)を評価する。								
科目全体 評価方		この科目	は別に示す神経障害理	学療法(担当:	高澤)との台	う算評価と	する。	

						令和7年3	月1日記入
コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門			
35	×:非該当	内部障害理学療法	開講時期 授業時間	<u>2年前期</u> 60	担当者	山野井	裕子
		☑実務経験のある	る教員による	単位数	2 単位	演習	
科目概要・目的 近年、生活習慣病を基盤とした内部障害系疾患は増加の一途をたたどっている。内部障害は文字通り、その障害が外から見えにくいため、病態の理解が重要となる。本授業では、担当者が理学療法士として病院・介護保険施設に20年間勤務した経験に基づき、呼吸器・循環器・代謝疾患の病態を理解し、リスク管理を行いながら適切な理学療法を行えるよう講義を行う。 本位数 2 年度							
教育目標記 234	亥当項目						
回数	時間	テーマ		授業内容	▸到達目標	示	担当教員

回数	時間	テーマ	授業内容•到達目標	担当教員
第1回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸器の解剖・生理	山野井
第2回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸不全の病態	山野井
第3回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸器疾患	山野井
第4回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸器疾患	山野井
第5回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸機能の評価	山野井
第6回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸機能の評価	山野井
第7回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸理学療法	山野井
第8回	2	呼吸器疾患に対する理学療法	呼吸理学療法	山野井
第9回	2	循環器疾患に対する理学療法	ケーススタディ	山野井
第10回	2	循環器疾患に対する理学療法	循環器の解剖・生理	山野井
第11回	2	循環器疾患に対する理学療法	運動負荷試験	山野井
第12回	2	循環器疾患に対する理学療法	虚血性心疾患	山野井
第13回	2	循環器疾患に対する理学療法	虚血性心疾患	山野井
第14回	2	循環器疾患に対する理学療法	回復期理学療法	山野井
第15回	2	循環器疾患に対する理学療法	心不全	山野井
第16回	2	循環器疾患に対する理学療法	心不全	山野井
第17回	2	循環器疾患に対する理学療法	心電図	山野井
第18回	2	循環器疾患に対する理学療法	心電図	山野井
第19回	2	循環器疾患に対する理学療法	ケーススタディ	山野井
第20回	2	代謝疾患に対する理学療法	糖尿病の定義と診断	山野井
第21回	2	代謝疾患に対する理学療法	糖尿病の急性合併症と慢性合併症	山野井
第22回	2	代謝疾患に対する理学療法	糖尿病の治療	山野井
第23回	2	代謝疾患に対する理学療法	糖尿病の評価と理学療法	山野井
第24回	2	代謝疾患に対する理学療法	動脈硬化	山野井
第25回	2	代謝疾患に対する理学療法	ケーススタディ	山野井
第26回	2	腎障害に対する理学療法	腎臓の解剖・生理	山野井
第27回	2	腎障害に対する理学療法	慢性腎臓病と治療	山野井
第28回	2	救急救命医学	救急救命の実際、AED	山野井
第29回	2	検査数値の読み方	検査数値の読み方	山野井
第30回	2	まとめ	総括	山野井
評価方	法	振り返りシート、成果物(授業資料)、	小テストにて判断する。	

							令和7年3	月1日記入	
コード番号	企業	との連携	科目名	分野	専門	10.11.41		_ 1.7	
0.0		=+ \//	物理療法	開講時期	2年前期	担当者	高森耳	E祥	
36		:該当	☑実務経験のあ	授業時間	30	単位数	2 単位	講義	
科目概要・	目的		▼ 大小小庄司大 ♥ 7 0 0 0	の投資にある	刀又木		<u> </u>		
理学療法	Eとして	整形外科で 基本的	病院、一般病院、大学系 内な物理刺激が、物理療	病院にて8年間 野法として人体	の実務経		学テキスト区 物		
			₹法の適応・禁忌・注意点			キーワート			
器を用いて	器を用いて実習を行い、治療を行えるようにする。 電気刺激療法・電磁波療法・党								
数育目標該当項目 法·超音波療法·水治療法·牽 [□]									
教育日標記 23	《ヨ垻日	=							
回数	時間		テーマ		授業内容	•到達目標	票	担当教員	
第1回	2		物理療法総論	総論及び物理	里療法の適応	芯の多い病	態の理解	髙森	
第2回	2		温熱療法①	温熱療法概論	・表在熱を利	用した物理症	療法について	髙森	
第3回	2		温熱療法②	深部温熱を利	月用した物理	療法につい	ハて	髙森	
第4回	2		寒冷療法①	総論•一般寒	冷療法につ	いて		髙森	
第5回	2		寒冷療法②	極低温療法に					
第6回	2		光線療法	総論•紫外線	•赤外線・レ	一ザー光約	泉療法について	髙森	
第7回	2		水治療法	総論・全身浴	・部分浴につ	ついて		髙森	
第8回	2	Ē	『気刺激療法①	総論及び理論	・効果につ	いて		髙森	
第9回	2	Ē	『 気刺激療法②	電気刺激療法	去各論			髙森	
第10回	2		牽引療法	牽引療法の理	黒論と実際に	こついて		髙森	
第11回	2	牧	加理療法 実技①					髙森	
第12回	2	牧	加理療法 実技②	 当校所有の	髙森				
第13回	2	牧	加理療法 実技③	法、注意事項を理解する 高					
第14回	2	牧	加理療法 実技④						
第15回	2	振動	カ刺激療法・まとめ	振動刺激療法	振動刺激療法概論とこれまでの振り返り				

評価指標にて⑥成果物(講義資料)、⑦成果物(講義中に作成したノート)を評価する。

評価方法

							令和7年3.	月1日記入
コード番号	企業と	との連携	科目名	分野	専門	10.00	-1 -	1 4 5
07	\sim	=+ \//	義肢·装具学	開講時期	2年前期	担当者	時田 幸	之輔
37	O:	:該当	☑実務経験のあ	授業時間	30 ス 垣 業	単位数	1 単位	演習
科目概要・	目的		▼ 大小九十三元 ♥ 7 0 0 0	る我只にみ	0]又未		<u> </u>	
	-	て総合病院	完5年間の実務経験を活	かした授業。	義肢•装具		<u> </u>	7717
			者のADLが向上するため				肢」医歯薬出版	
			ることは言うまでもない。			キーワート		
			な議論を交わすことので 業では、様々な義肢・装				B義足、股義足、 損傷、脊髄損傷	卜 腿莪疋
教育目標語			are cross far a commercial	/(· / / / / / / / / / / / / / / / / / /	12		患、中枢神経疾患	E.
23								
回数	時間		テーマ		授業内容	₹∙到達目ホ	票	担当教員
第1回	2		切断	切断原因•切]断部位につ	いて説明出	出来る。	時田
第2回	2		義足の部品	義足の膝継	手・足継手に	ついて説明	月出来る。	時田
第3回	2	J	に腿義足ソケット	各種大腿義	足ソケットに	ついて説明	出来る。	時田
第4回	2	大腿郭	毚足のアライメント−1	大腿義足のベンチアライメント、静的アライメントについて説明出来る。				時田
第5回	2	大腿郭	義足のアライメント−2	大腿義足の動的アライメントについて説明出来る。				時田
第6回	2	下	腿義足のソケット	各種下腿義	足ソケットに	ついて説明	出来る。	時田
第7回	2	下腿	義足のアライメント	下腿義足の	各種アライメ	ントについ	て説明出来る。	時田
第8回	2		股義足	股義足のソケ る。	ァット・アライ	メントにつし	いて説明出来	時田
第9回	2		装具学総論	装具の目的	と力学的基礎	楚について	説明出来る。	時田
第10回	2		末梢神経損傷 対する上肢装具	末梢神経損の る。	傷に対する」	上肢装具に	ついて説明出来	時田
第11回	2	に対	脊髄損傷 対する上下肢装具	脊髄損傷に	対する上下肌	技装具につ	いて説明出来	時田
第12回	2	骨折	に対する下肢装具	骨折に対する	る免荷装具に	こついて説り	明出来る。	時田
第13回	2		体幹装具	各種体幹装.	具について記	説明出来る	0	時田
第14回	2		血管障害片麻痺 対する下肢装具	片麻痺対す [,] る。	る下肢装具の	の適応につ	いて説明出来	時田
第15回	2	義朋	・装具と患者ADL	他職種との過	連携と患者A	DL向上につ	ついて説明出来	時田

評価方法

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門		臂 貴紀		
		理学療法技術論I	開講時期	3年前期	責任者			
38	× : 非該当	连子原 法 权削酬 1	授業時間	180				
		☑実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	4 単位	演習	

科目概要•目的

一般病院・クリニック・老人施設などで5年以上の経験を有する教員により 理学療法士として必要とされる知識を総合的に学習し、臨床実習にて経験・ 関わることの多い運動器疾患や呼吸循環器疾患、脳血管障害、神経筋疾患 キーワード について、その基礎医学や臨床医学に基づいて症状や現症や日常生活を 理解する。それらの疾患についての評価方法や理学療法専門領域について ③障害 ④検査・測定 理解する。また理学療法全体を通して観察や分析などに必要な力学的な視 点や運動による生体反応を理解する。

|教科書(著者/書名/発行所)

講義開始前に指定する

- ①機能・構造 ②疾患
- ⑤理学療法

(2)(3)				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:心臓の解剖・動脈の解剖	山野井
第2回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:静脈の解剖・リンパ管の解剖	山野井
第3回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:血液・心臓生理	山野井
第4回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:循環制御•運動生理	山野井
第5回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:脈管病理・血圧測定	山野井
第6回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:画像·血液所見·聴診·心電図	山野井
第7回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:冠疾患・冠疾患リハ	山野井
第8回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:心不全・心疾患・心不全・心疾患リハ	山野井
第9回	2	基礎と臨床医学の繋がり	循環器:脈管疾患・内部その他	山野井
第10回	2	基礎と臨床医学の繋がり	呼吸器:呼吸器解剖•換気生理	山野井
第11回	2	基礎と臨床医学の繋がり	呼吸器:呼吸運動•呼吸器疾患	山野井
第12回	2	基礎と臨床医学の繋がり	呼吸器:スパイロメータ・フローボリューム曲線	山野井
第13回	2	基礎と臨床医学の繋がり	呼吸器:画像·聴診·分類	山野井
第14回	2	基礎と臨床医学の繋がり	呼吸器:COPD リハ・体位ドレナージ	山野井
第15回	2	基礎と臨床医学の繋がり	呼吸器:吸引•人工呼吸器	山野井
第16回	2	基礎と臨床医学の繋がり	呼吸器:呼吸リハその他・脳血管	山野井
第17回	2	基礎と臨床医学の繋がり	中枢∶大脳・大脳基底核	高澤
第18回	2	基礎と臨床医学の繋がり	中枢:大脳辺縁系・脳その他	高澤
第19回	2	基礎と臨床医学の繋がり	中枢:脊髄反射弓・神経伝達物質	高澤
第20回	2	基礎と臨床医学の繋がり	中枢:体性感覚・脳波	高澤
第21回	2	基礎と臨床医学の繋がり	CVA:CVA 一般症状・CVA 視床病変	高澤
第22回	2	基礎と臨床医学の繋がり	CVA:CVA クモ膜下出血・水頭症・CVA その他症状	高澤
第23回	2	基礎と臨床医学の繋がり	CVA:画像·評価	高澤
第24回	2	基礎と臨床医学の繋がり	CVA: 高次脳機能障害•肩手症候群	高澤
第25回	2	基礎と臨床医学の繋がり	CVA:急性期・一般的な理学療法	高澤
第26回	2	基礎と臨床医学の繋がり	CVA:装具·外傷性脳損傷	高澤
第27回	2	基礎と臨床医学の繋がり	CVA:臨床判断•PD	高澤
第28回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:PD・リハ・SCD	音
第29回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:SCD・リハ・MS	臂
第30回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:MS・リハ・GBS	辟

	コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門			
			理学療法技術論 T	開講時期	3年前期	責任者	臂	貴紀
	38	×:非該当	理学療法技術論I	授業時間	180			
			▽実務経験のあ	る数量による	5授業	単位数	4 単位	油 習

科目概要・目的

- 般病院・クリニック・老人施設などで5年以上の経験を有する教員により 理学療法士として必要とされる知識を総合的に学習し、臨床実習にて経験・ 関わることの多い運動器疾患や呼吸循環器疾患、脳血管障害、神経筋疾患 キーワード について、その基礎医学や臨床医学に基づいて症状や現症や日常生活を 理解する。それらの疾患についての評価方法や理学療法専門領域について 理解する。また理学療法全体を通して観察や分析などに必要な力学的な視 点や運動による生体反応を理解する。

教科書(著者/書名/発行所)

講義開始前に指定する

- ①機能・構造 ②疾患
- ③障害 ④検査・測定
- ⑤理学療法

(2)(3)				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第31回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:GBS・リハ・ALS	臂
第32回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:ALS・リハ・MG	臂
第33回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:ニューロパチー(CMT)・多発性筋炎	臂
第34回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:めまい・筋ジス	臂
第35回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:筋ジス・リハ・その他 疾患	臂
第36回	2	基礎と臨床医学の繋がり	神経筋疾患:その他 リハ・総論	臂
第37回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脳幹・脳神経∶視覚・視覚器・聴覚・聴覚器	辟
第38回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脳幹・脳神経:口腔(嚥下・味覚)・顎運動	
第39回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脳幹・脳神経:嚥下障害・ワレンベルグ症候群	
第40回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脳幹・脳神経:顔面の解剖生理・顔面のMMT	臂
第41回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脳幹・脳神経:顔面神経麻痺・脊髄(伝導路)解剖	臂
第42回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損:脊損 疾患 部分損傷・脊損 疾患 その他	小池
第43回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損:脊損 合併症 自律神経過反射・脊損 合併症 異所性骨化	小池
第44回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損:脊損 合併症 その他・脊損 疾患評価 Frankel	小池
第45回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損:脊損 疾患評価 ASIA·脊損 疾患評価 Zancolli	小池
第46回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損:髄節別 ADLなど C5・髄節別 ADLなど C6	小池
第47回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損:髄節別 ADLなど C7・髄節別 ADLなど その他	小池
第48回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損:髄節判定•脊損PT 画像所見	小池
第49回	2	基礎と臨床医学の繋がり	脊損∶脊損PT 一般問題•二分脊椎	小池
第50回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:骨 総論·関節·靭帯 総論	小池
第51回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:筋 生理・筋 付着部	小池
第52回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器∶触診・その他・皮膚	小池
第53回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器∶股関節・膝関節	小池
第54回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:下腿~足関節~足部・肩関節	小池
第55回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:肘関節•前腕~手~指	小池
第56回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:体幹・頭部・基礎 その他	小池
第57回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:整形テスト・筋長テスト・画像所見	菊地
第58回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:ROM訓練·筋力増強	菊地
第59回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:RA 疾患・合併症・評価・RA 変形・ADL・リハ	菊地
第60回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:骨折 疾患・骨折 合併症	菊地

=	コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門			
	38		理学療法技術論 I	開講時期	3年前期	責任者	臂 貴紀	
		×:非該当		授業時間	180			
			☑実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	4 単位	演習

科目概要•目的

一般病院・クリニック・老人施設などで5年以上の経験を有する教員により 理学療法士として必要とされる知識を総合的に学習し、臨床実習にて経験・ 関わることの多い運動器疾患や呼吸循環器疾患、脳血管障害、神経筋疾患 キーワード について、その基礎医学や臨床医学に基づいて症状や現症や日常生活を 理解する。それらの疾患についての評価方法や理学療法専門領域について 理解する。また理学療法全体を通して観察や分析などに必要な力学的な視 点や運動による生体反応を理解する。

|教科書(著者/書名/発行所)

講義開始前に指定する

- ①機能・構造 ②疾患
- ③障害 ④検査・測定
- ⑤理学療法

教育目標該当項目

2(3)

2 3				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第61回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:骨折 リハ・OA 疾患	菊地
第62回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:OA リハ・ACL リハ	菊地
第63回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:軟部組織損傷 疾患・軟部組織損傷 リハ	菊地
第64回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:ヘルニア・狭窄症 疾患・ヘルニア・狭窄症 リハ	菊地
第65回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:脊柱 リハ その他・基礎物理 用語	菊地
第66回	2	基礎と臨床医学の繋がり	バイオ:カ学 計算・立位姿勢	辟 腎
第67回	2	基礎と臨床医学の繋がり	バイオ:歩行・運動分析	臂
第68回	2	基礎と臨床医学の繋がり	バイオ:異常歩行・BI・FIM採点、評価	臂
第69回	2	基礎と臨床医学の繋がり	ADL:疾患別 ADL·車椅子	小川
第70回	2	基礎と臨床医学の繋がり	ADL:環境整備·諸ADL定義	小川
第71回	2	基礎と臨床医学の繋がり	ADL: 杖 • その他ADL	高澤
第72回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:ROM 測定法 3点·ROM 測定法 1点 基本軸·移動軸	高澤
第73回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:ROM 測定法 1点 肢位·ROM 参考可動域	高澤
第74回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:ROM 特殊・ROM その他	高澤
第75回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:MMT 測定法 3点·MMT 測定法 1点 肢位	菊地
第76回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:MMT 測定法 1点 その他・MMT 代償	菊地
第77回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:MMT 触診・MMT その他	菊地
第78回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:形態測定•感覚検査	菊地
第79回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:反射・バランス評価	高澤
第80回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:老研式•尺度	高澤
第81回	2	基礎と臨床医学の繋がり	評価:その他評価・評価結果判断	高澤
第82回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第83回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第84回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第85回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第86回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第87回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第88回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第89回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
第90回	2	基礎と臨床医学の繋がり	各分野まとめ	持田
評価方	法	評価指標にて⑨成果物(小テスト	・結果)を評価する。科目評価指標は別に示す。	

	コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門			
	39		理学療法技術論Ⅱ	開講時期	3年後期	責任者	臂 貴紀	
		×:非該当		授業時間	180			
			☑実務経験のあ	る教員による	5授業	単位数	6 単位	演習

科目概要・目的

一般病院・クリニック・老人施設などで5年以上の経験を有する教員により理学療法士として必要とされる知識を総合的に学習し、臨床実習や理学療法技術論 I での学習を活かし、理学療法の専門領域である物理療法や装具学などについて改めて理解を深める。また理学療法適応患者さんに多い合併症への対応力や小児等の幅広い疾患に対する理解を深める。

理学療法全体を通して介護保険等の社会資源や制度についても理解を深める。

単位数 6 単位 ▮ 週 教科書(著者/書名/発行所)

講義開始前に指定する

キーワード

- ①機能・構造 ②疾患
- ③障害 ④検査・測定
- ⑤理学療法 ⑥力学
- ⑦制度

教育目標該当項目

(2)(3)

23				
回数	時間	テーマ	授業内容•到達目標	担当教員
第1回	2	基礎と臨床医学の繋がり	消化器:消化器解剖•門脈	持田
第2回	2	基礎と臨床医学の繋がり	消化器:消化生理・排便機構	持田
第3回	2	基礎と臨床医学の繋がり	消化器:消化器疾患(肝・膵)・消化器疾患(消化管)	持田
第4回	2	基礎と臨床医学の繋がり	代謝:代謝 解剖·生理·DM·他	山野井
第5回	2	基礎と臨床医学の繋がり	代謝:DM リハ・代謝リハ 計算など	山野井
第6回	2	基礎と臨床医学の繋がり	代謝:代謝リハ その他・泌尿器解剖	山野井
第7回	2	基礎と臨床医学の繋がり	泌尿器:泌尿器生理・排尿 神経機構	持田
第8回	2	基礎と臨床医学の繋がり	泌尿器:慢性腎不全・慢性腎不全リハ	持田
第9回	2	基礎と臨床医学の繋がり	末梢神経∶総論・走行・神経叢	小池
第10回	2	基礎と臨床医学の繋がり	末梢神経:筋神経支配・感覚支配	小池
第11回	2	基礎と臨床医学の繋がり	末梢神経∶運動単位・神経伝導	小池
第12回	2	基礎と臨床医学の繋がり	末梢神経:神経線維・筋収縮	小池
第13回	2	基礎と臨床医学の繋がり	末梢神経:末梢神経障害の病態・症状	小池
第14回	2	基礎と臨床医学の繋がり	末梢神経:末梢神経障害 評価・リハ・ポリオ リハ	小池
第15回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:ACL リハ・軟部組織損傷 疾患	菊地
第16回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:軟部組織損傷 リハ・ヘルニア・狭窄症 疾患	菊地
第17回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:ヘルニア・狭窄症 リハ・脊柱 リハ その他	菊地
第18回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:切断 疾患・切断 リハ	菊地
第19回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:熱傷 疾患・熱傷 リハ	菊地
第20回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:骨端症•CRPS	菊地
第21回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:骨粗鬆症・その他運動器疾患	菊地
第22回	2	基礎と臨床医学の繋がり	運動器:整形リハ その他・正常発達	菊地
第23回	2	基礎と臨床医学の繋がり	小児:原始反射•CP	小松
第24回	2	基礎と臨床医学の繋がり	小児:その他小児リハ・加齢変化	小松
第25回	2	臨床医学と理学療法	補装具∶上肢装具・体幹装具	臂
第26回	2	臨床医学と理学療法	補装具:靴型装具•SLB	臂
第27回	2	臨床医学と理学療法	補装具∶SHB・膝継手・部品など	臂
第28回	2	臨床医学と理学療法	補装具:長下肢装具・その他下肢装具	辟
第29回	2	臨床医学と理学療法	補装具:大腿義足部品·大腿義足ADL	臂
第30回	2	臨床医学と理学療法	補装具:その他義足・BI・FIM採点、評価	臂

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門				
39	× : 非該当	理学療法技術論Ⅱ	開講時期 授業時間	3年 180	責任者	臂貴	紀	
		☑実務経験のあ	る教員による	授業	単位数	6 単位	演習	
科目概要・	目的				教科書(著	蒈者/書名/発行	·所)	
		、施設などで5年以上の約			講義開始前に指定する			
		ιる知識を総合的に学習						
		い、理学療法の専門領:						
		解を深める。また理学療						
		等の幅広い疾患に対する			キーワード			
	全体を通して介護	護保険等の社会資源や	制度についても	も理解を深	①機能•構	造 ②疾患		
める。					③障害 ④検査・測定			
教育目標該当項目					⑤理学療法 ⑥力学			
23					⑦制度			

-			O 11124	
回数	時間	テーマ	授業内容•到達目標	担当教員
第31回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	ADL:疾患別 ADL·車椅子	小川
第32回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	ADL:環境整備・諸ADL定義	小川
第33回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	ADL:杖・その他ADL	小川
第34回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	物療:温熱療法•極超短波	小池
第35回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	物療:寒冷療法・超音波療法	小池
第36回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	物療:電気刺激療法・水治療法	小池
第37回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	物療:電気生理学的検査・疾患別	小池
第38回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	物療:その他物療・防衛機制	小池
第39回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理:心理テスト・検査・心理療法・人物名	小川
第40回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理:心理的発達・記憶	小川
第41回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理:転移・逆転移・面接・症状	小川
第42回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理:統合失調症・うつ病	小川
第43回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理: てんかん・アルコール依存症	小川
第44回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理:小児·PTSD·神経症	小川
第45回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理:認知症•薬物療法	小川
第46回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	精神心理:その他精神医学・地域・介護保険系	小川
第47回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	概論:PTOT法·個人情報保護法	小川
第48回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	概論:その他 法律・制度・福祉 用語	小川
第49回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	概論:ICF·ICIDH·標準予防策	小川
第50回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	概論:感染症・クリニカルパス	小川
第51回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	概論:対応・その他・病理	小川
第52回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	腫瘍:腫瘍 疾患 脳腫瘍・腫瘍 疾患 その他	持田
第53回	2	臨床医学と理学療法の繋がり	腫瘍:腫瘍 リハ・	持田
第54回	2	臨床実習を通しての学び	呼吸器系疾患と基礎医学・理学療法	山野井
第55回	2	臨床実習を通しての学び	呼吸器系疾患と基礎医学・理学療法	山野井
第56回	2	臨床実習を通しての学び	呼吸器系疾患と基礎医学・理学療法	山野井
第57回	2	臨床実習を通しての学び	呼吸器系疾患と基礎医学・理学療法	山野井
第58回	2	臨床実習を通しての学び	循環器系疾患と基礎医学・理学療法	山野井
第59回	2	臨床実習を通しての学び	循環器系疾患と基礎医学・理学療法	山野井
第60回	2	臨床実習を通しての学び	循環器系疾患と基礎医学・理学療法	山野井

	コード番号	企業との連携	科目名	分野	<u>専門</u>			
	39		理学療法技術論Ⅱ	開講時期	3年	責任者	臂 貴紀	
		×:非該当	理子療法技術論Ⅱ	授業時間	180			
			☑実務経験のあ	る教員による	授業	単位数	6 単位	演習

科目概要·目的

一般病院・クリニック・老人施設などで5年以上の経験を有する教員により理学療法士として必要とされる知識を総合的に学習し、臨床実習や理学療法技術論 I での学習を活かし、理学療法の専門領域である物理療法や装具学などについて改めて理解を深める。また理学療法適応患者さんに多い合併症への対応力や小児等の幅広い疾患に対する理解を深める。

理学療法全体を通して介護保険等の社会資源や制度についても理解を深 める。

教科書(著者/書名/発行所)

講義開始前に指定する

キーワード

- ①機能・構造 ②疾患
- ③障害 ④検査・測定
- ⑤理学療法 ⑥力学
- 7制度

教育目標該当項目

23

回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第61回	2	臨床実習を通しての学び	末梢神経障害と基礎医学・理学療法	小池
第62回	2	臨床実習を通しての学び	末梢神経障害と基礎医学・理学療法	小池
第63回	2	臨床実習を通しての学び	末梢神経障害と基礎医学・理学療法	小池
第64回	2	臨床実習を通しての学び	末梢神経障害と基礎医学・理学療法	小池
第65回	2	臨床実習を通しての学び	末梢神経障害と基礎医学・理学療法	小池
第66回	2	臨床実習を通しての学び	末梢神経障害と基礎医学・理学療法	小池
第67回	2	臨床実習を通しての学び	末梢神経障害と基礎医学・理学療法	小池
第68回	2	臨床実習を通しての学び	脳血管障害と基礎医学・理学療法	高澤
第69回	2	臨床実習を通しての学び	脳血管障害と基礎医学・理学療法	高澤
第70回	2	臨床実習を通しての学び	脳血管障害と基礎医学・理学療法	高澤
第71回	2	臨床実習を通しての学び	脳血管障害と基礎医学・理学療法	高澤
第72回	2	臨床実習を通しての学び	脳血管障害と基礎医学・理学療法	高澤
第73回	2	臨床実習を通しての学び	脳血管障害と基礎医学・理学療法	高澤
第74回	2	臨床実習を通しての学び	神経筋疾患と基礎医学・理学療法	臂
第75回	2	臨床実習を通しての学び	神経筋疾患と基礎医学・理学療法	臂
第76回	2	臨床実習を通しての学び	神経筋疾患と基礎医学・理学療法	臂
第77回	2	臨床実習を通しての学び	神経筋疾患と基礎医学・理学療法	臂
第78回	2	臨床実習を通しての学び	神経筋疾患と基礎医学・理学療法	臂
第79回	2	臨床実習を通しての学び	神経筋疾患と基礎医学・理学療法	臂
第80回	2	臨床実習を通しての学び	神経筋疾患と基礎医学・理学療法	臂
第81回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第82回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第83回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第84回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第85回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第86回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第87回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第88回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第89回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
第90回	2	臨床実習を通しての学び	整形疾患と基礎医学と理学療法	菊地
評価方	法	評価指標にて⑨成果物(小テスト	・結果)を評価する。科目評価指標は別に示す。	

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門			
40	×:非該当	理学療法技術論Ⅲ	開講時期 授業時間	3年 180	責任者		紀
		☑実務経験のあ	る教員による	授業	単位数	6 単位	演習
科目概要•	目的				教科書(清	· 香者/書名/発行	·所)
一般病院	・クリニック・老人	、施設などで5年以上の約	X験を有する教	く員による	講義開始前に指定する		
講義で、3年	∓間の講義や臨♪	末実習での学習を活かし	、理学療法士	として求め			
		を理解し、社会と理学療法			キーワード		
		の基礎医学、臨床医学	を理解し、それ	らの理学	①機能・構造 ②疾患		
療法専門領	頁域について考え	こることができる。			③障害 ④検査・測定		
					⑤理学療法 ⑥力学		
教育目標該当項目					⑦制度		
23							

教育目標該当項目 ②③

<u>J</u>				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第1回	2	医学と理学療法	循環器:心臓の解剖 動脈の解剖 静脈の解剖	山野井
第2回	2	医学と理学療法	循環器:リンパ管の解剖 血液 心臓生理	山野井
第3回	2	医学と理学療法	循環器:循環制御 運動生理 脈管病理	山野井
第4回	2	医学と理学療法	循環器:血圧測定 画像·血液所見·聴診 心電図	山野井
第5回	2	医学と理学療法	循環器:冠疾患 冠疾患リハ 心不全・心疾患	山野井
第6回	2	医学と理学療法	循環器:心不全・心疾患リハ 脈管疾患 その他	山野井
第7回	2	医学と理学療法	呼吸器:呼吸器解剖 換気生理 呼吸運動	山野井
第8回	2	医学と理学療法	呼吸器:疾患 スパイロメータ フローボリューム	山野井
第9回	2	医学と理学療法	呼吸器:画像・聴診 分類 COPD リハ	山野井
第10回	2	医学と理学療法	呼吸器:体位ドレナージ 吸引 人工呼吸器	山野井
第11回	2	医学と理学療法	呼吸器:呼吸リハその他 消化器解剖 門脈	山野井
第12回	2	医学と理学療法	消化器:消化生理 排便機構 消化器疾患(肝・膵)	持田
第13回	2	医学と理学療法	消化器:消化器疾患 代謝 解剖·生理 DM·他	持田
第14回	2	医学と理学療法	代謝:DM リハ 代謝リハ 代謝リハ その他	山野井
第15回	2	医学と理学療法	泌尿器:泌尿器解剖 泌尿器生理 排尿 神経機構	持田
第16回	2	医学と理学療法	泌尿器:慢性腎不全 慢性腎不全リハ 脳血管	持田
第17回	2	医学と理学療法	中枢:大脳 大脳基底核 大脳辺縁系	高澤
第18回	2	医学と理学療法	中枢:脳その他 脊髄反射弓 神経伝達物質	高澤
第19回	2	医学と理学療法	中枢:体性感覚 脳波 CVA 一般症状	高澤
第20回	2	医学と理学療法	CVA:視床病変 クモ膜下出血・水頭症 その他	高澤
第21回	2	医学と理学療法	CVA:画像 評価 高次脳機能障害	高澤
第22回	2	医学と理学療法	CVA:肩手症候群 急性期 一般的な理学療法	高澤
第23回	2	医学と理学療法	CVA:装具 外傷性脳損傷 臨床判断	高澤
第24回	2	医学と理学療法	神経筋疾患:PD PD・リハ SCD	臂
第25回	2	医学と理学療法	神経筋疾患:SCD・リハ MS MS・リハ	臂
第26回	2	医学と理学療法	神経筋疾患:GBS GBS・リハ ALS	辟
第27回	2	医学と理学療法	神経筋疾患:ALS・リハ MG ニューロパチー	臂
第28回	2	医学と理学療法	神経筋疾患:多発性筋炎 めまい 筋ジス	臂
第29回	2	医学と理学療法	神経筋疾患:筋ジス・リハ│その他	臂
第30回	2	医学と理学療法	脳幹・脳神経:総論 視覚・視覚器 聴覚・聴覚器	辟門

						1, 14, 10	/	
コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門				
		理学療法技術論Ⅲ	開講時期	3年	責任者	臂貴	紀	
40	× : 非該当		授業時間	180				
		☑実務経験のあ	る教員による	授業	単位数	6 単位	演習	
科目概要•	目的				教科書(著	香者/書名/発行	·所)	
一般病院	・クリニック・老人	、施設などで5年以上の約	E験を有する教	は員による	講義開始前に指定する			
講義で、3年	∓間の講義や臨♪	末実習での学習を活かし	、理学療法士:	として求め				
		を理解し、社会と理学療法			キーワード			
		の基礎医学、臨床医学	を理解し、それ	らの理学	①機能・構造 ②疾患			
療法専門領域について考えることができる。					③障害 ④検査・測定			
					⑤理学療法 ⑥力学			
教育目標語	亥当項目				⑦制度			
(2)(3)								

(2)(3)				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第31回	2	医学と理学療法	脳幹・脳神経:嚥下・味覚 顎運動 嚥下障害	臂
第32回	2	医学と理学療法	脳幹・脳神経:ワレンベルグ 顔面の解剖生理・MMT	臂
第33回	2	医学と理学療法	脳幹・脳神経:顔面神経麻痺 伝導路 脊損 疾患	臂
第34回	2	医学と理学療法	脊損:疾患 │自律神経過反射│合併症 異所性骨化│	小池
第35回	2	医学と理学療法	脊損:疾患評価 Frankel 脊損 疾患評価 ASIA	小池
第36回	2	医学と理学療法	脊損:疾患評価 Zancolli 髄節別 ADLなど C5C6	小池
第37回	2	医学と理学療法	脊損:髄節別 ADLなど C7その他 髄節判定	小池
第38回	2	医学と理学療法	脊損:画像所見 脊損PT 一般問題 二分脊椎	小池
第39回	2	医学と理学療法	末梢神経:総論 走行・神経叢 筋神経支配	小池
第40回	2	医学と理学療法	末梢神経:感覚支配 運動単位 神経伝導	小池
第41回	2	医学と理学療法	末梢神経:神経線維 筋収縮 病態	小池
第42回	2	医学と理学療法	末梢神経:障害の症状 評価・リハ ポリオ リハ	小池
第43回	2	医学と理学療法	運動器:骨 総論 関節·靭帯 総論 筋 生理	小池
第44回	2	医学と理学療法	運動器:筋 付着部 触診・その他 皮膚	小池
第45回	2	医学と理学療法	運動器:股関節 膝関節 下腿~足関節~足部	小池
第46回	2	医学と理学療法	運動器:肩関節 肘関節 前腕~手~指	小池
第47回	2	医学と理学療法	運動器:体幹・頭部 基礎 その他 整形・筋長テスト	小池
第48回	2	医学と理学療法	運動器:画像所見 ROM訓練 筋力増強	菊地
第49回	2	医学と理学療法	運動器:RA 疾患・評価・ADL・リハ 骨折 疾患	菊地
第50回	2	医学と理学療法	運動器:骨折 合併症 骨折 リハ OA 疾患	菊地
第51回	2	医学と理学療法	運動器:OA リハ ACL リハ 軟部組織損傷 疾患	菊地
第52回	2	医学と理学療法	運動器:軟部組織損傷 ヘルニア・狭窄症 リハ	菊地
第53回	2	医学と理学療法	運動器:脊柱 リハ 切断 疾患 切断 リハ	菊地
第54回	2	医学と理学療法	運動器:熱傷 疾患 熱傷 リハ 骨端症	菊地
第55回	2	医学と理学療法	運動器: CRPS 骨粗鬆症 その他運動器疾患	菊地
第56回	2	医学と理学療法	運動器:整形リハ その他 正常発達 原始反射	菊地
第57回	2	医学と理学療法	小児:CP その他小児リハ 加齢変化	臂
第58回	2	医学と理学療法	バイオ:基礎物理 用語 力学 計算 立位姿勢	臂
第59回	2	医学と理学療法	バイオ:歩行 運動分析 異常歩行	臂
第60回	2	医学と理学療法	補装具:上肢装具 体幹装具 靴型装具	臂

コード番号	企業との連携	科目名	分野	専門					
40	×:非該当	理学療法技術論Ⅲ	開講時期 授業時間	3年 180	責任者	臂貴紀			
40	^ . か 以 ヨ				22/ / 1 2//	o 22/ / L	› 스 코코		
		☑実務経験のある教員による授業			単位数	6 単位	演習		
科目概要•	目的				教科書(清	蒈者/書名/発行	亍所)		
一般病院	・クリニック・老人	、施設などで5年以上の約	E験を有する教	は員による	講義開始前に指定する				
講義で、3年	₣間の講義や臨席	末実習での学習を活かし	、理学療法士	として求め					
られる基本	的な資質・能力を	を理解し、社会と理学療法	去士の役割を理	理解する。	キーワード				
また今後臨	床で関わる疾患	の基礎医学、臨床医学	を理解し、それ	らの理学	①機能•構	造 ②疾患			
療法専門領	頁域について考え	こることができる。				検査・測定			
			5理学療法	去 ⑥力学					
教育目標語	亥 当項目				⑦制度				
(2)(3)									

(2)(3)				
回数	時間	テーマ	授業内容·到達目標	担当教員
第61回	2	医学と理学療法	補装具:SLB SHB 膝継手・部品など	臂
第62回	2	医学と理学療法	補装具:長下肢装具 その他 大腿義足部品	臂
第63回	2	医学と理学療法	補装具:大腿義足ADL BI•FIM採点、評価	臂
第64回	2	医学と理学療法	ADL:疾患別 ADL 車椅子 環境整備	小川
第65回	2	医学と理学療法	ADL:諸ADL定義 杖 その他ADL	小川
第66回	2	医学と理学療法	物療:温熱療法 極超短波 寒冷療法	小池
第67回	2	医学と理学療法	物療:超音波療法 電気刺激療法 水治療法	小池
第68回	2	医学と理学療法	物療:電気生理学的検査 疾患別 その他物療	小池
第69回	2	医学と理学療法	評価:ROM 測定法 基本軸・移動軸 肢位	高澤
第70回	2	医学と理学療法	評価:ROM 参考可動域 ROM 特殊 その他	高澤
第71回	2	医学と理学療法	評価:MMT 測定法	高澤
第72回	2	医学と理学療法	評価:MMT 代償 MMT 触診 MMT その他	高澤
第73回	2	医学と理学療法	評価:形態測定 感覚検査 反射	高澤
第74回	2	医学と理学療法	評価:バランス評価 老研式 尺度	高澤
第75回	2	医学と理学療法	評価:その他評価 評価結果判断 統計	高澤
第76回	2	医学と理学療法	精神心理:防衛機制 心理テスト 心理療法・人物名	小川
第77回	2	医学と理学療法	精神心理:心理的発達 記憶 転移·逆転移·面接	小川
第78回	2	医学と理学療法	精神心理:症状 統合失調症 うつ病	小川
第79回	2	医学と理学療法	精神心理: てんかん アルコール依存症 小児	小川
第80回	2	医学と理学療法	精神心理:PTSD·神経症 認知症 薬物療法	小川
第81回	2	医学と理学療法	精神心理∶精神医学 地域·介護保険系 PTOT法	小川
第82回	2	医学と理学療法	概論:個人情報保護法 法律・制度 福祉 用語	小川
第83回	2	医学と理学療法	概論:ICF•ICIDH│標準予防策│感染症	小川
第84回	2	医学と理学療法	概論:クリニカルパス 対応・その他 病理	小川
第85回	2	医学と理学療法	腫瘍:腫瘍 疾患 脳腫瘍 腫瘍 リハ	持田
第86回	2	医学と理学療法	その他:運動学習 内分泌疾患 免疫 炎症	持田
第87回	2	医学と理学療法	その他:自律神経 発生 細胞基礎代謝	持田
第88回	2	医学と理学療法	その他:薬物療法 長期臥床・褥瘡・廃用症候群	持田
第89回	2	医学と理学療法	その他:体温 アレルギー ビタミン欠乏症 予防医学	持田
第90回	2	医学と理学療法	その他:萎縮 :CPM 生活習慣病 その他分類難	持田
評価方	法	評価指標にて⑨成果物(小テスト	結果)を評価する。科目評価指標は別に示す。	

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	≥の連携	科目名	分野	専門			
			日常生活活動学	開講時期	2年前期	担当者	小川系	记子
41	× : ₹	非該当	口币工心心到子	授業時間	60			
			☑実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	4 単位	講義
科目概要•	目的					教科書(清	· 香者/書名/発行	所)
			章害者・高齢者が生活を					
			関わるものであり、リバ				動学·生活環境等	单第5版」
			念とQOLについて理解し			キーワート		
			る。理学療法士として一		、介護老人		_、バリアフリーと	
			倹を活かした授業である	0		ルナサイン	ノ、福祉用具、家	族への指導
教育目標語 23450		3						
<u> </u>) 時間		テーマ	1	拉娄山东	┖ ●到達目村		担当教員
第1回	2		<u>, , </u>	┃ 日常・生活・シ			•	担ヨ教員 小川
第2回	2	Ц	n ADLの概念	ADLの概念				小川
第3回	2		ADLの観囲	APDL•IADLI			٥٠	小川
第4回	2		ADL & QOL	ADL¿QOLO			<u> </u>	小川
第5回	2		QOL評価法	QOLの評価			J o	小川
第6回	2		ADLと運動学①	運動を左右で			<u> </u>	小川
第7回	2		NDLと運動子②	代償運動に			<i>y</i> w 0	小川
第8回	2		NDLと運動学③	動作分析とA			する。	小川
						:::	SADLについて	
第9回	2	できる	SADL・しているADL	理解する。				小川
*		== /		食事・整容・	更衣動作の	チェックポイ	ントを理解す	
第10回	2	ADL評作	面のチェックポイント①	る。				小川
##		4 D. ET /	TOT 51° 4.10	トイレ・入浴・	移動動作の	チェックポィ	イントを理解す	
第11回	2	ADL評作	面のチェックポイント②	る。				小川
第12回	2	<i>I</i> ₹ .г	た中のADI 松道①	片麻痺•脊髓	損傷のADL	指導につい	へて理解する。	小川
第13回	2	合	失患のADL指導①					小川
第14回	2	タェ	たまの 4 DI 作道の	脳性麻痺•関	節リウマチの	のADL指導	について理解	小川
第15回	2	台想	集患のADL指導②	する。				小川
第16回	2	久』	失患のADL指導③		術後∙下肢切	断のADL‡	旨導について理	小川
第17回	2	70 77	大心VADL旧寺(b)	解する。				小川
第18回	2	各级	失患のADL指導④	呼吸器•循環	器疾患のAl	DL指導にて	ついて理解す	小川
第19回	2	ц <i>г</i>	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	る。 	## 	-	. بکند ما ا	小川
第20回	2	各级	失患のADL指導⑤		·難病•視覚	障害のADL	指導について	小川
第21回	2	- "		理解する。	호 포 스탠스	在叫去 邢	77	小川
第22回	2		動作介助①	動作介助の				小川
第23回	2			ボディメカニケ				小川
第24回	2		動作介助②	代表的な姿勢	-		ナインソ	小川
第25回	2			ベッド上移動				小川
第26回 第27回	2		動作介助③	起き上がり・: トランスファ-		ノリ 助力法		小川 小川
第28回	2			歩行介助・階		1		小川
第29回	2		動作介助④	事例を用いた) 宝践	小川
第30回	2		 国家試験対策	国家試験過				小川
評価方			出状況及び試験の結り			− 71 円/6		41,411
п і іш / з	14	ᆘᆉᄯᆇᆛᆘ	. 一. アンフェスト しょうきょう マン・ドロフ	ていまう エンフーレ	ס לס לואדנ			

							71年/牛の	/
コード番号	企業と	との連携	科目名	分野	専門			
			地域リハビリテーション I	開講時期	2年前期	担当者	菊地 裕	美
42	0:	:該当	地域リハビリナーフョンエ	授業時間	15			
			☑実務経験のあ	る教員による	5授業	単位数	1 単位	講義
科目概要•	目的					教科書(著	蒈者/書名/発行	所)
理学療法士	上として!	5年以上0)経験に基づいて、地域	リハビリテーシ	ノョンの理	重森 健太	「地域リハビリテ	ーション学
			食法や関連法規を学び、	地域で実践さ	れている	第2版」羊		
サービスに	ついて	の理解を	深めていく。			キーワード		
地域リハビリテーションの理念								
							害者総合支援法	去、地域包
教育目標語	亥当項目	1				括ケアシス	ステム	
2345				Ī	15 14 4 4			
回数	時間		テーマ			・到達目標	担当教員	
第1回	2	地域	リハビリテーション				户的背景、現在	菊地
۸, ۱۵			の理念・歴史	の動向につい	へて理解する	0 0		<i>7</i> ,70
第2回	2	地域	リハビリテーション	│ 介護保険法(:	こついて理値	# す る。		菊地
312 🖂			関連法規	71 12 14 15 15 15	C- <u>-</u> -1	T / U 0		A) ~ .
第3回	2	地域	リハビリテーション	 障害者総合3	を揺法につい	ハ ケ理解す	5	菊地
新0回			関連法規	1年日1日110日2	人」及/公「こうし	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 °	利地
第4回	2	抽械匀坛	「ケアシステムについて		アシステムの	考え方、実	際について理	菊地
另 年回		地域已加		解する。				利地
第5回	2	tata tat	における社会資源	社会福祉協議	義会など、地	域における	社会資源につ	菊地
あら凹		고만생	1~6317 公江五貝派	いて理解する	0 0			判地
笠の同				地域における	理学療法の)必要性を	理解し、介入根	左 地
第6回	2		地 以垤子尔 冮	拠を説明できる。				菊地
## 7 E			地域用学病社	地域における	理学療法の)評価•治療	を について説明	# 114
第7回	2		地域理学療法	できる。				菊地
## o 🗔		t d.	1 -1 -1-1-1-7-1- 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	地域リハビリ	テーションに	関連する専	専門職種を理解	 tul.
第8回	2	地	域における連携	し、連携方法			- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	菊地
評価方	法	課題の提	出状況及び試験の結果	を総合的に半	削断する。			
	•							

							予和/平3	月1日記入
コード番号	企業	との連携	科目名	分野 開講時期	専門 3年前期	担当者	菊地 裕	美
43	0	該当	地域リハビリテーションⅡ	授業時間	15			
			☑実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	1 単位	講義
科目概要・		75 /	の奴除に甘べいて 地	まけい ビロニ	2>O.th		著者∕書名/発行 「地域リハビリテ	
			.の経験に基づいて、地‡ 活動を見学するまた、グ			里珠)建入 第2版」羊:		ーション字
			はサービスの利用を考え			キーワート		
地域での関わり、生活期、予								予防∙健康
# 	l -					増進		
教育目標語 2456	亥当項目	1						
回数	時間		テーマ		授業内容	∙到達目ホ	三	担当教員
第1回	2	地域に	おける介入方法の実際	施設での理論	学療法			菊地
第2回	2	地域に	おける介入方法の実際	施設での理算	学療法			菊地
第3回	2	地域に	おける介入方法の実際	通所理学療法	去			菊地
第4回	2	地域に	おける介入方法の実際	通所理学療法	去			菊地
第5回	2	地域に	おける介入方法の実際	訪問理学療法	去			菊地
第6回	2	地域に	おける介入方法の実際	訪問理学療法	去			菊地
第7回	2	地域に	おける介入方法の実際	疾病、再発、	障害予防			菊地
第8回	2	地域に	おける介入方法の実際	疾病、再発、	障害予防			菊地

課題の提出状況及び試験の結果を総合的に判断する。

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業。	との連携	科目名	分野	専門			
44	0	:該当	臨床実習I	開講時期 授業時間	1年通年 45	責任者	菊地	潤
		ľ	□実務経験のあ	る教員による	5授業	単位数	1 単位	実習
科目概要•	目的					教科書(著	著者/書名/発行	
社会人•写	実習生る	としての意	識を高め、必要な態度や	5行動を身に	つけるととも	指定しない	١	
			・て他者(学生間)・指導者	اة(担当教員)ك	のコミュニ			
ケーション				W 75 //B 50 3		キーワード		
		職、チーム	医療の中での理学療法	業務(役割•貢	仕)につい		支法•医療面接•	
て理解する) ₀					ムドコンセ	ント・個人情報、	情報管理
<u> </u>	ᅔᆇᅚᅙ					Į.		
教育目標語	《ヨ垻日	=						
回数	時間		テーマ		垣 業	・到達目標	=	担当教員
第1回	2		 おける機能・組織、理学	・				12.3 秋貝
第2回	2		についてまた医療に従					
第3回	2		としてソーシャルスキル					
第4回	2		学び、ディスカッション			. = 0		
第5回	2		より理解を深める。				学実習として、	
第6回	2	1					、見学前後に	
第7回	2	1					幕前に考え、小	
第8回	2			グループにて	ナイスカッシ	ヨンする。		
第9回	2]						
第10回	2							
第11回	2							
第12回	2							
第13回	2							
第14回	2							
第15回	2							
第16回	2							
第17回	2							
第18回	2	ļ						
第19回	2							
第20回	2							
第22回	2							
第23回	2							
第24回	2	1						
第25回	2							
第26回	2	1						
第27回	2	1						
第28回	2	1						
第29回	2							
第30回	2							
第31回	2							
第32回	2							
第33回	2							
第34回	2							
第35回	2							
第36回	2							
第37回	2	ļ						
第38回	2							
第39回	2							
第40回 第41回	2	ł						
第41回	2	ł						
第42回	3							
第44回	4							
第45回	2							
評価方		臨床宝習	要綱に従う					I
	14	ᄥᄼᄌᆸ	メポラールノ					

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業と	の連携	科目名	分野	専門			
			臨床実習Ⅱ	開講時期	2年後期	責任者	高澤 泽	羊二
45	0:	該当		授業時間	270			
			□実務経験のあ	る教員による	る授業	単位数	6 単位	実習
科目概要・							蒈者/書名/発行	<u> </u>
			設の職員とのコミュニケ			指定しない	`	
			の内容とその流れを把			·		
			測定体験を通して、臨尿 E例の疾患・障害を考慮			キーワード		
			E例の疾患・障害を考慮 旨導者が考える臨床的解			陝	≧•記録、報告	
天旭し、()	77 和 未 7	1.0×11	1年17.77人の四人いが	+が、1年日1多で	·±#70°			
教育目標該	5 当 項 日	1						
3456	~ — ~ —	•						
回数	時間		テーマ		授業内容	到達目標	五	担当教員
第1回		実習指導	者と共に様々な参加症	・理学療法	業務の見学	・参加またに	よコミュニケー	
第2回	2	例の診療	に参加し、理学療法の	ションや問診	等を通じ、医	療に従事で	する者としての	
第3回			検査・測定を体験す	ソーシャルス	キルを身に	つける。		
第4回			ミ習指導者とともに参加	☆ : - - • ·	- 15 ST & IT IT			
第5回		証例への かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	理解を深める。				こ、実習指導者の関係が特別	
第6回	2						の間接的情報、 その理由につい	
第7回	2			快宜・測定等 て理解する。	・による但依	リカーサイン	・の理由につい	
第8回	2			(土が)				
第9回	2			・検査測定案	実習であり、ね	様々な参加	症例を対象に	
第10回	2			疾患や障害	を考慮した基	本的な検査	・測定方法を	
第11回	2			実習指導者(の指導のもと	:学ぶ。		
第12回	2							
第13回	2						実習指導者が	
第14回 第15回	2			考える臨床的	9解釈•障害	像を埋解す	'నం	
第16回	2							
第17回	2							
第18回	2							
第19回	2							
第20回	2							
第21回	2							
第22回	2							
第23回	2							
第24回	2							
第25回	2							
第26回	2							
第27回	2							
第28回	2							
第29回	2							
第30回	2							
第31回 第32回	2							
第32回	2							
第34回	2							
第35回	2							
第36回	2							
第37回	2							
第38回	2							
第39回	2							
第40回	2							
第41回	2							
第42回	2							
第43回	3							
第44回	4							
第45回	2							
評価方	法	臨床実習	要綱に従う					

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業。	との連携	科目名	分野	専門			
				開講時期	2年後期	責任者	高澤 洋	<u> </u>
46	0	:該当	臨床実習Ⅲ	授業時間	270			
			□実務経験のあ			単位数	6 単位	実習
科目概要•	目的			<u> </u>			著者/書名/発行	
		理学療法	去実施に際し倫理的・専	門職の観点の	こ立った青	指定しない		37717
			おける理学療法の実施に			7172000		
			見学・体験を通して、参加			キーワード	•	
			薬施し、その結果から実				服の理解・問題点	の抽出・全
解釈•障害	像と問題	題解決に同	句けた仮説(目標設定・理	里学療法計 画)を理解す	体像の把拠		
る。								
教育目標認	亥当項目							
3456								
回数	時間		テーマ		授業内容	·到達目標	<u> </u>	担当教員
第1回	2	実習指導	者と共に様々な参加症					
第2回	2						者としてのソー	
第3回	2		検査・測定を体験す	シャルスキル	レを身につけ	る。		
第4回	2		とともに参加 ところ	,	- 15 AF			
第5回	2	症例への	理解を深める。				、実習指導者	
第6回	2						の間接的情報、	
第7回	2					が有報)とそ	の理由につい	
第8回	2			て理解する。				
第9回	2			・ <i>様 5 t</i> > 会 t	n庁伽た計争	に 佐黒か	障害を考慮した	
第10回	2						埋音を考慮した 望者の指導のも	
第11回	2			と学ぶ。	且。例还刀丛	で大日刊等	台の担等のも	
第12回	2			こする。				
第13回	2			・基本的な精	食者・測定結!	果に対する	実習指導者が	
第14回	2				的解釈•障害			
第15回	2							
第16回	2							
第17回	2			上記の臨床	実習Ⅱの【実	習内容およ	び目標】に、以	
第18回	2			下を追加す				
第19回	2						けた実習指導	
第20回	2					学療法計画	iを理解する評	
第21回	2			価実習であ	ර ං			
第22回	2							
第23回	2							
第24回	2							
第25回	2							
第26回	2							
第27回	2							
第28回	2							
第29回	2							
第30回	2							
第31回	2							
第32回	2							
第33回	2							
第34回	2							
第35回	2							
第36回	2							
第37回	2							
第38回	2							
第39回	2							
第40回	2							
第41回	2							
第42回	2							
第43回	2							
第44回	2							
第45回	2							
評価方	i法	臨床実習	要綱に従う					

							令和7年3	月1日記入
コード番号	企業。	との連携	科目名	分野	専門			
		** =		開講時期	3年前期	責任者	小川 岩	紀子
47	\circ	:該当	臨床実習Ⅳ	授業時間	45) (i = i		
''		- 1/	□実務経験のあ			単位数	1 単位	実習
科目概要・	日的			しかなにら	マンス不			
		汗た アロ	る障害者、高齢者に対し	7冊学族注	の知識・技	指定しない		1171/
			'を、保健医療福祉にお			日足しなり	•	
			ノハビリテーション等)で(キーワード	,	
ぶ。	, , , _	12 \ M2171 .		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			療法•介護保険活	±.
,5·°							_{R. ム・月 設体映力 /-based-rehabili}	
教育目標認	友坐 頂 E	3				包括ケア	, based renabili	ונמנוטוו געינטיג
3456	× – 7, L	-				C10 / /		
回数	時間		テーマ		坦 業	·到達目標	<u> </u>	担当教員
第1回			•	臨床現場の				15日 扒貝
第2回			コミュニケーションをと	I	心以にて元寸	F X E C I I .	0	
第3回	2	れる。	1\1- / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \					
第4回	2		で提供しているサービ					
第5回	2		把握できる。					
第6回	2		での理学療法士の業務					
第7回	2	内容と役	割を理解できる。					
第8回	2		者の理学療法ニーズを					
第9回	2	把握でき						
第10回	2		療法に必要な人的資源					
第11回	2	を説明で						
第12回	2		療法に必要な制度的資					
第13回	2	源を説明	できる。 療法に必要な経済的資					
第14回	2	源を説明						
第15回	2	ᆙᆥᆫᆒᄞ	(C0)					
第16回	2	1						
第17回	2	1						
第18回	2	1						
第19回	2	1						
第20回	2	1						
第21回	2	1						
第22回	2	1						
第23回	2	1						
第24回	2	1						
第25回	2	1						
第26回	2]						
第27回	2							
第28回	2]						
第29回	2]						
第30回	2]						
第31回	2]						
第32回	2]						
第33回	2]						
第34回	2]						
第35回	2]						
第36回	2]						
第37回	2	1						
第38回	2]						
第39回	2]						
第40回	2]						
第41回	2]						
第42回	2]						
第43回	2]						
第44回	2]						
第45回	2							
評価方	法	臨床実習	要綱に従う					

							令和7年3	<u>3月1日記入</u>
コード番号	企業と	≤の連携	科目名	分野	専門			
			吃 产 由33.17	開講時期	3年	責任者	小川	紀子
48	\bigcirc	該当	臨床実習Ⅴ	授業時間	270			-
10		11X —	□実務経験のあ			単位数	6 単位	実習
科目概要•	日的			る状気にある	7]又未		<u> </u>	
		二.贮叔	Dもとで、参加症例が個	カルちまて明ら	哲士 柳 汁 士	指定しない		וולת נ 1
						担定しない	•	
			法評価、問題点抽出、目 果判定という一貫した理			+ n 1	S	
			未刊止という ^一 貝しに注	子原法の体験	ならいに必			- / - - / -
要な記録が	, 650	0					定・治療プログ ↑	フムユ条・他
	+ 1/ -= =					部門との連	L	
教育目標認	《当垻日	1						
3456				1				
回数	時間		テーマ			•到達目標	•	担当教員
第1回	2		算者による主たる参加				コミュニケーショ	
第2回			療に参加し、理学療法				者としてのソー	
第3回	_		部体験する。また実習	シャルスキル	を身につけ	ර ං		
第4回	_		共に参加症例への理	₽2216 ★ ←	ο#\ * =- '	-⊽ o ± i . `		
第5回		解を深め	る 。				たる参加症例	
第6回	2				診から必要	な情報を収	(集し整理・記録	來
第7回	2			する。	エニッチャ	松木 畑 宀 :-	- p 🛎 🕹 1	
第8回	2						こ見学・参加し、	
第9回	2			埋字療法評値			た各評価結果	
第10回	2				天白扣导石	△☆Ⅰ〜桝柳	し、記球を打	
第11回	2			う。				
第12回	2			 生羽长道 之	レサに主た	ス 会 加 庁 何	の問題点の抽	
第13回	2						の内域点の描り体験し記録す	
第14回	2			る。	一つなノロフ	ノムエ来り	ノア高大し記述が	
第15回	2			. 0°				
第16回	2			 • 宝羽指道者	レ共に主た。	る参加症例	に対し、一部の	
第17回	2						療効果判定を紹	
第18回	2			験する。		, DO 100	***********	-
第19回	2							
第20回	2							
第21回	2							
第22回	2							
	2							
第23回								
第24回	2							
第25回	2							
第26回	2							
第27回	2							
第28回	2							
第29回	2							
第30回	2							
第31回	2							
第32回	2							
第33回	2							
第34回	2							
第35回	2							
第36回	2							
第37回	2							
第38回	2							
第39回	2							
第40回	2							
第41回	2							
第42回	2							
第43回	2							
第44回	2							
第45回	2							
第45回 評価方		施庄宝羽	要綱に従う	l				1
	14	叫小大日	メラスト					